

周辺地域動態

7. 周辺地域動態

7.1 進め方

7.1.1 整理方針

周辺地域動態は、大きく2つの流れで整理する。一つは、地域との関わりという点で、地域社会情勢の変遷を整理するとともに、地域連携のための取り組みを紹介する。もう一つの流れとして、周辺施設や湖の利用状況を把握する。

7.1.2 整理手順

整理方針のとおり大きく2つの流れにより行い、とりまとめることとする。

作業のフローは図 7.1-1 に示すとおりである。

(1) 周辺地域の概況

周辺地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等の立地特性等の視点から周辺地域の概況を把握する。

(2) 事業と地域社会情勢の変遷

周辺地域の社会情勢、計画等について事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理する。これらのまとめにより、周辺地域の地域特性や近年の動向を把握する。

(3) 地域連携のための取り組み

管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度の管理者と地域の交流事項等について整理する。

(4) 周辺施設や湖の利用状況

湖の周辺施設について紹介し、施設入り込み数、イベント開催状況等の利用状況を整理する。

(5) まとめ

以上より、地域と事業の関わり、周辺施設等の利用状況をまとめる。

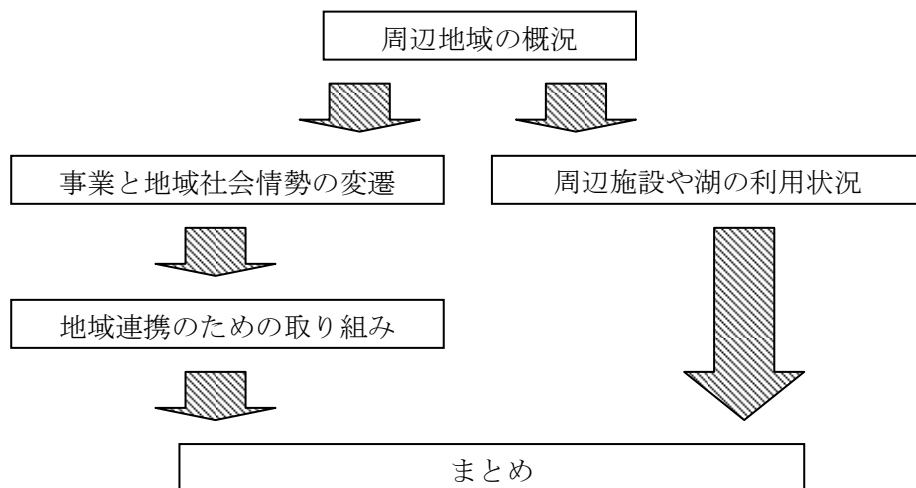


図 7.1-1 検討手順

7.1.3 必要資料(参考資料)の収集・整理

湖周辺の社会情勢、利用、整備状況等に関わる資料等、まとめに必要な資料について収集し、リストを作成する。収集した資料は「7.9 文献リストの作成」において整理する。

7.2 周辺地域の概況

7.2.1 周辺地域の概要

琵琶湖を囲む滋賀県は、日本列島のほぼ中央にあり、伊吹、鈴鹿、比良、比叡などの山々に囲まれた盆地である。中央に滋賀県全面積の約6分の1を占める日本一の湖、琵琶湖をかかえ、周囲の山々から流れ出る多くの川が琵琶湖に注いでいる。

(1) 流域の概況

2003年(平成15年)まで8市41町1村であった滋賀県は、2004年(平成16年)10月1日の市町村合併により、2町の合併により野洲市、湖南市、5町合併により甲賀市が誕生し、近年まで合併特例法の下で市町村合併が進み、現在では13市6町の計19市町となっており、新たなまちづくりの取組みが始まっている。琵琶湖並びに滋賀県内の市町村面積を表7.2-1に示す。

表 7.2-1 琵琶湖並びに滋賀県内の市町村面積

市町名	旧市町村名		市町名	旧市町村名	
	旧市町村名	面積 (km ²)		旧市町村名	面積 (km ²)
琵琶湖		670.25	高島市	高島郡マキノ町	693.00
大津市	大津市	464.10		高島郡今津町	
	滋賀郡志賀町			高島郡朽木村	
彦根市	彦根市	196.84		高島郡安曇川町	
長浜市	長浜市	680.79		高島郡高島町	
	東浅井郡びわ町		東近江市	高島郡新旭町	
	東浅井郡浅井町			八日市市	
	東浅井郡虎姫町			神崎郡永源寺町	
	東浅井郡湖北町			神崎郡五箇荘町	
	伊香郡高月町			愛知郡愛東町	
	伊香郡木之本町			愛知郡湖東町	
	伊香郡余呉町	177.39		蒲生郡蒲生町	
	伊香郡西浅井町			神崎郡能登川町	
近江八幡市	旧近江八幡市	177.39	米原市	坂田郡米原町	250.46
	蒲生郡安土町			坂田郡山東町	
草津市	草津市	67.92		坂田郡伊吹町	
守山市	守山市	55.73		坂田郡近江町	
栗東市	栗東市	52.75	蒲生郡		
甲賀市	甲賀郡水口町	481.69	日野町	蒲生郡日野町	117.63
	甲賀郡土山町		竜王町	蒲生郡竜王町	44.52
	甲賀郡甲賀町		愛知郡		
	甲賀郡甲南町		愛荘町	愛知郡秦荘町	37.95
	甲賀郡信楽町			愛知郡愛知川町	
野洲市	野洲郡中主町	80.15	犬上郡		
	野洲郡野洲町		豊郷町	犬上郡豊郷町	7.82
湖南市	甲賀郡石部町	70.49	甲良町	犬上郡甲良町	13.62
	甲賀郡甲西町		多賀町	犬上郡多賀町	135.93

出典：「滋賀県統計書」(2011年度(平成23年度)), 滋賀県総合政策部統計課

市町村合併：滋賀県 HP「市町村合併」参照

- ✓ 2004年(平成16年)10月1日に旧野洲町、旧中主町が合併し、「野洲市」になった。
- ✓ 2004年(平成16年)10月1日に旧水口町、旧土山町、旧甲賀町、旧甲南町、旧信楽町が合併し、「甲賀市」になった。
- ✓ 2004年(平成16年)10月1日に旧石部町、旧甲西町が合併し、「湖南町」になった。
- ✓ 2005年(平成17年)1月1日に旧高島郡(マキノ町、今津町、安曇川町、高島町、新旭町、朽木村)が合併し、「高島市」になった。
- ✓ 2005年(平成17年)2月11日に旧八日市市、旧神埼郡(永源寺町、五個荘町)、旧愛知郡(愛東町、湖東町)が合併し、「東近江市」になった。
- ✓ 2005年(平成17年)2月14日に旧坂田郡(米原町、山東町、伊吹町)が合併し、「米原市」になった。
- ✓ 2005年(平成17年)10月1日に旧米原市、旧坂田郡近江町が合併し、「米原市」になった。
- ✓ 2006年(平成18年)1月1日に旧東近江市、旧蒲生郡蒲生町、旧神崎郡能登川町が合併し、「東近江市」になった。
- ✓ 2006年(平成18年)2月13日に旧長浜市、旧東浅井郡浅井町、旧東浅井郡びわ町と合併し、「長浜市」になった。
- ✓ 2006年(平成18年)2月13日に旧愛知郡(泰荘町、愛知川町)が合併し、「愛荘町」になった。
- ✓ 2006年(平成18年)3月20日に旧大津市、旧滋賀郡志賀町が合併し、「大津市」になった。
- ✓ 2008年(平成22年)1月1日に旧長浜市、旧東浅井郡(虎姫町、湖北町)が合併し、「長浜市」となった。
- ✓ 2008年(平成22年)3月21日に旧近江八幡市、旧蒲生郡安土町が合併し、「近江八幡市」となった。

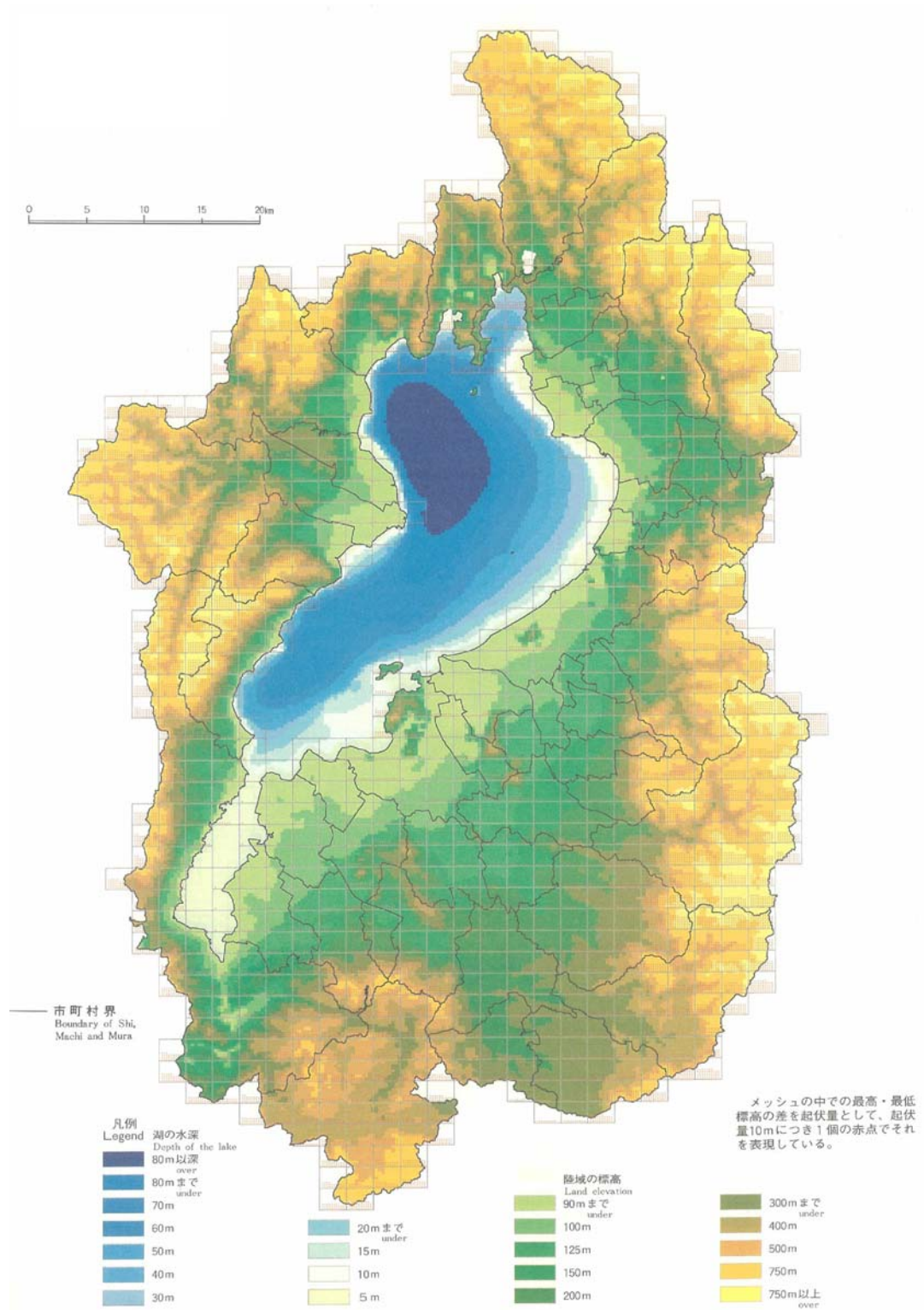


図 7.2-1 琵琶湖流域の地形図

注) 1985年(昭和60年)当時の市町村界であり現在の市町村界とは異なる。

出典:「琵琶湖周辺地域環境利用ガイド」(1985年(昭和60年)),滋賀県

(2) 人口・世帯数の推移

琵琶湖周辺流域（滋賀県）における人口・世帯数の推移を表 7.2-2、図 7.2-2 に示す。

滋賀県内の人口は、1950年(昭和25年)頃から1960年(昭和35年)代後半頃までの10年間は85万人前後に推移していたが、その後、2000年(平成12年)頃まで急激な増加を続け、2000年(平成12年)に約134万人となり、その後微増傾向となり2011年(平成23年)時点で約141万人となっている。滋賀県は琵琶湖周辺流域に相当することから、この51年間で琵琶湖流域の人口が約57万人(約1.7倍)増加したと言える。

表 7.2-2 滋賀県内の人口・世帯数の推移

	明治23年	明治33年	明治43年	大正4年	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年
世帯数(世帯)	134,861	131,054	131,801	133,990	143,426	144,662	147,962	151,132	149,135	182,730	178,689	177,482	183,277	195,831
総人口(人)	677,500	701,786	693,018	712,076	651,050	662,412	691,631	711,436	703,679	858,367	861,180	853,734	842,695	853,385
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年*	平成19年*	平成20年*	平成21年*	平成22年	平成23年*
世帯数(世帯)	215,263	250,944	302,635	330,012	362,253	405,349	453,695	495,960	506,434	516,221	525,008	530,281	517,748	542,753
総人口(人)	889,768	985,621	1,079,898	1,155,844	1,222,411	1,287,005	1,342,832	1,380,361	1,387,110	1,394,809	1,401,073	1,402,132	1,410,777	1,414,398

注1) ※印の人口と世帯数および1980年(昭和55年)、1985年(昭和60年)、1990年(平成2年)、1995年(平成7年)、2000年(平成12年)、2005年(平成17年)～2011年(平成23年)の世帯数については県推計による。

注2) 1890年(明治23年)～1910年(明治43年)および1915年(大正4年)については各年12月末現在である。

出典：国勢調査報告、総務省統計局、滋賀県推計人口年報(2012年(平成24年)10月)、滋賀県統計課

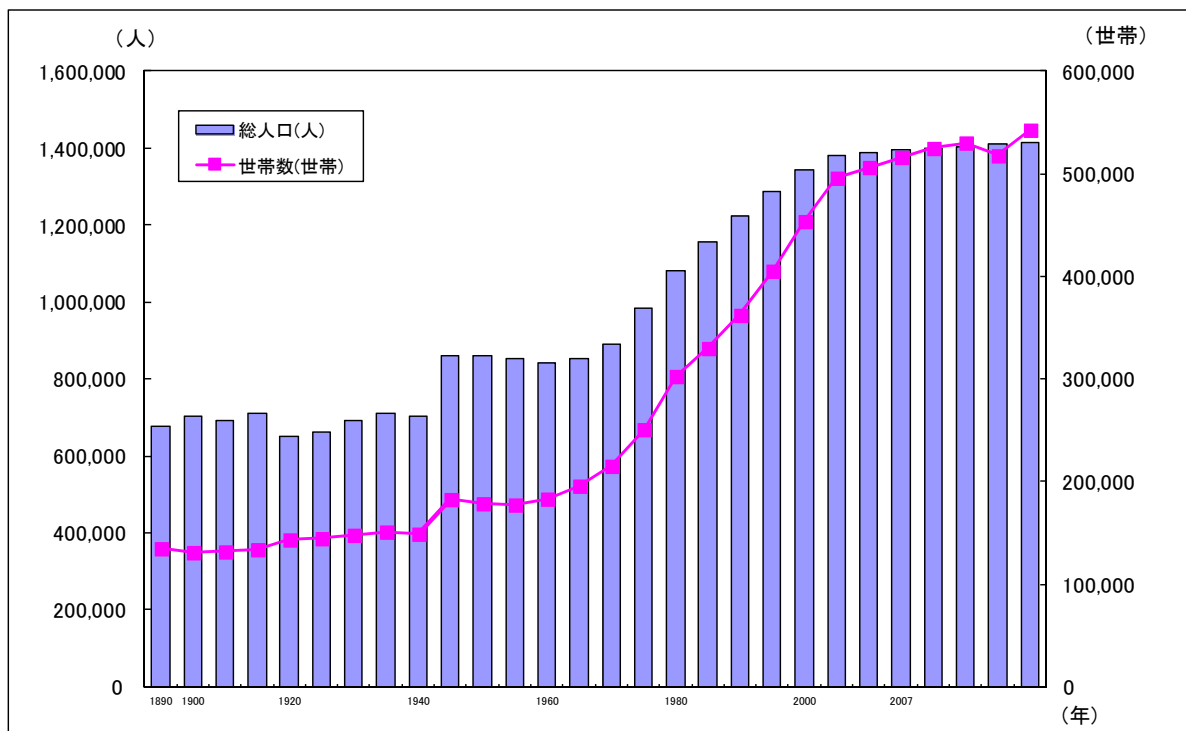


図 7.2-2 滋賀県内の人口・世帯数の推移

(3) 就業者数の推移

琵琶湖周辺流域（滋賀県）における就業者数の推移を表 7.2-3、図 7.2-3 に示す。

平成 17 年から 22 年にかけて第 1 次産業～第 3 次産業において全体的に若干の減少傾向にある。また、各年とも第 3 次産業が全体の 50%強を占めている。なお、近年、分類不能な産業が増加している。

表 7.2-3 滋賀県内における就業者数の推移

産 業 別	就 業 者 数 (人)					増加率 (%)		
	平成 2 年	7	12	17	22	12/7	17/12	22/17
総数	600,978	654,947	669,487	680,478	673,612	2.2	1.6	Δ0.0
第 1 次産業	34,527	33,047	23,518	25,145	18,548	Δ28.8	6.9	Δ0.3
農業	32,827	31,518	22,213	24,133	17,380	Δ29.5	8.6	Δ0.3
林業	663	637	530	366	648	Δ16.8	Δ30.9	0.8
漁業	1,037	892	775	646	520	Δ13.1	Δ16.6	Δ0.2
第 2 次産業	255,076	267,257	259,531	234,322	220,587	Δ2.9	Δ9.7	Δ0.1
鉱業	358	378	304	196	178	Δ19.6	Δ35.5	Δ0.1
建設業	47,437	57,240	56,276	50,194	41,751	Δ1.7	Δ10.8	Δ0.2
製造業	207,281	209,639	202,951	183,932	178,658	Δ3.2	Δ9.4	Δ0.0
第 3 次産業	309,539	352,168	378,477	411,386	400,229	7.5	8.7	Δ0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	3,063	3,558	3,789	2,917	2,818	6.5	Δ23.0	Δ0.0
運輸・通信業	31,981	35,771	36,841	-	-	3.0	-	-
(情報通信業)	-	-	-	8,249	8,015	-	-	-
(運 輸 業)	-	-	-	29,911	32,427	-	-	-
卸売・小売業、飲食店	110,528	123,423	129,818	-	-	5.2	-	-
(卸売・小売業)	-	-	-	107,326	99,093	-	-	-
金融・保険業	15,523	16,452	14,924	14,174	14,077	Δ9.3	Δ5.0	Δ0.0
不動産業	3,765	4,187	4,758	5,808	7,963	13.6	22.1	0.4
サービス業	124,300	147,797	166,309	-	-	12.5	-	-
(飲食店・宿泊業)	-	-	-	29,441	34,766	-	-	0.2
(医 療 ・ 福 祉)	-	-	-	56,555	66,323	-	-	0.2
(教育・学習支援業)	-	-	-	32,162	32,394	-	-	0.0
(複合サービス事業)	-	-	-	7,928	4,719	-	-	Δ0.4
(サービス業 (他に分類されないもの))	-	-	-	93,877	75,872	-	-	Δ0.2
公務 (他に分類されないもの)	20,379	20,980	22,038	23,038	21,762	5.0	4.5	Δ0.1
分類不能の産業	1,836	2,475	7,961	9,625	34,248	221.7	20.9	2.6

※2002 年(平成 14 年)に産業分類が改訂されたため、2000 年(平成 12 年)以前の産業分類と 2005 年(平成 17 年)の産業分類とはリンクしていない。

出典：国勢調査報告，総務省統計局

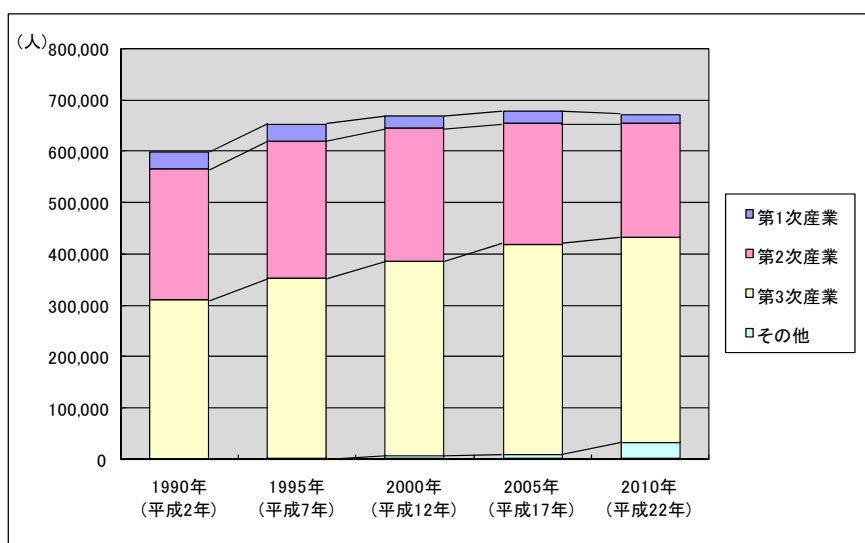


図 7.2-3 滋賀県内における就業者数の推移

(4) 土地利用と産業

滋賀県と全国の用途別土地利用面積の推移について、図 7.2-4 に示す。

1967年(昭和42年)から2010年(平成22年)の43年間の変化を見ると、水田は650km²から507km²と143km²(22%)の減少、畑地は86km²から57km²と29km²(34%)の減少、宅地は85km²から220km²と135km²(159%)の増加であり、同期間における全国値(14%減, 7%減, 130%増)と比較すると、滋賀県では都市化の進行に伴う農地から宅地その他への転用が急速に行われたといえる。

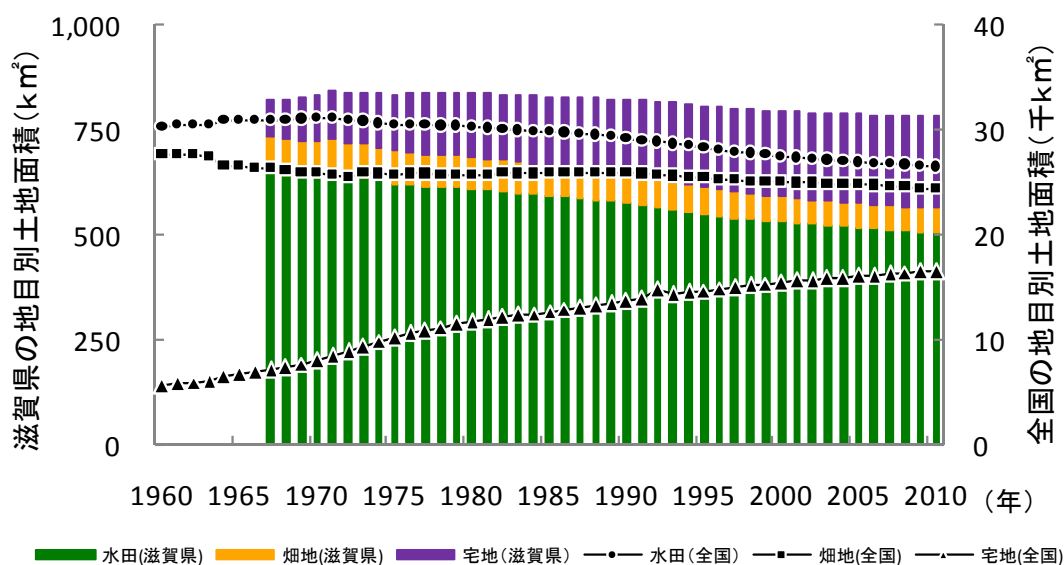
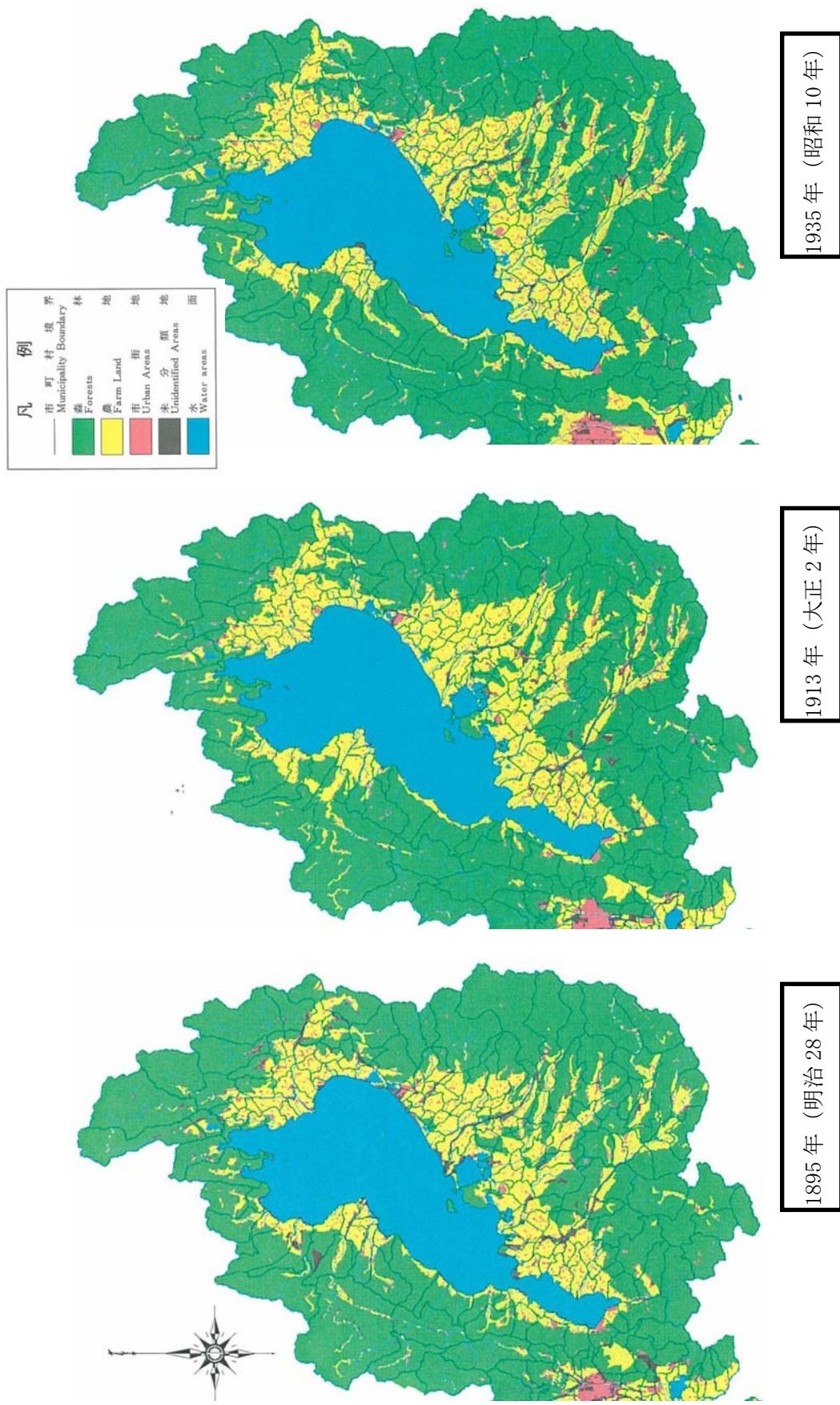


図 7.2-4 滋賀県と全国の用途別土地利用面積の推移

出典：「滋賀県統計書」(2011年度(平成23年度)), 滋賀県総合政策部統計課、
「日本の長期統計系列」, 総務省統計局 HP

図 7.2-5、図 7.2-6 に示す琵琶湖流域の土地利用分布をみると、農地は主に琵琶湖東岸の低地に分布しており、西岸側にはわずかにしかないことがわかる。市街地についても同様に、西岸より東岸に多く分布しており、他には南部の地域にも多く分布している。

また、経年的な推移からみると、東岸域を中心に森林が農地に改変していく状況がうかがえ、近年では、これらの農地が宅地に変わっていることがわかる。



1935年 (昭和10年)

1913年 (大正2年)

1895年 (明治28年)

図 7.2-5 琵琶湖流域の土地利用状況
 (上：1935年(昭和10年)、中：1913年(大正2年)、下：1895年(明治28年))
 出典：「琵琶湖博物館 研究調査報告書6号」(1998年(平成10年)),滋賀県

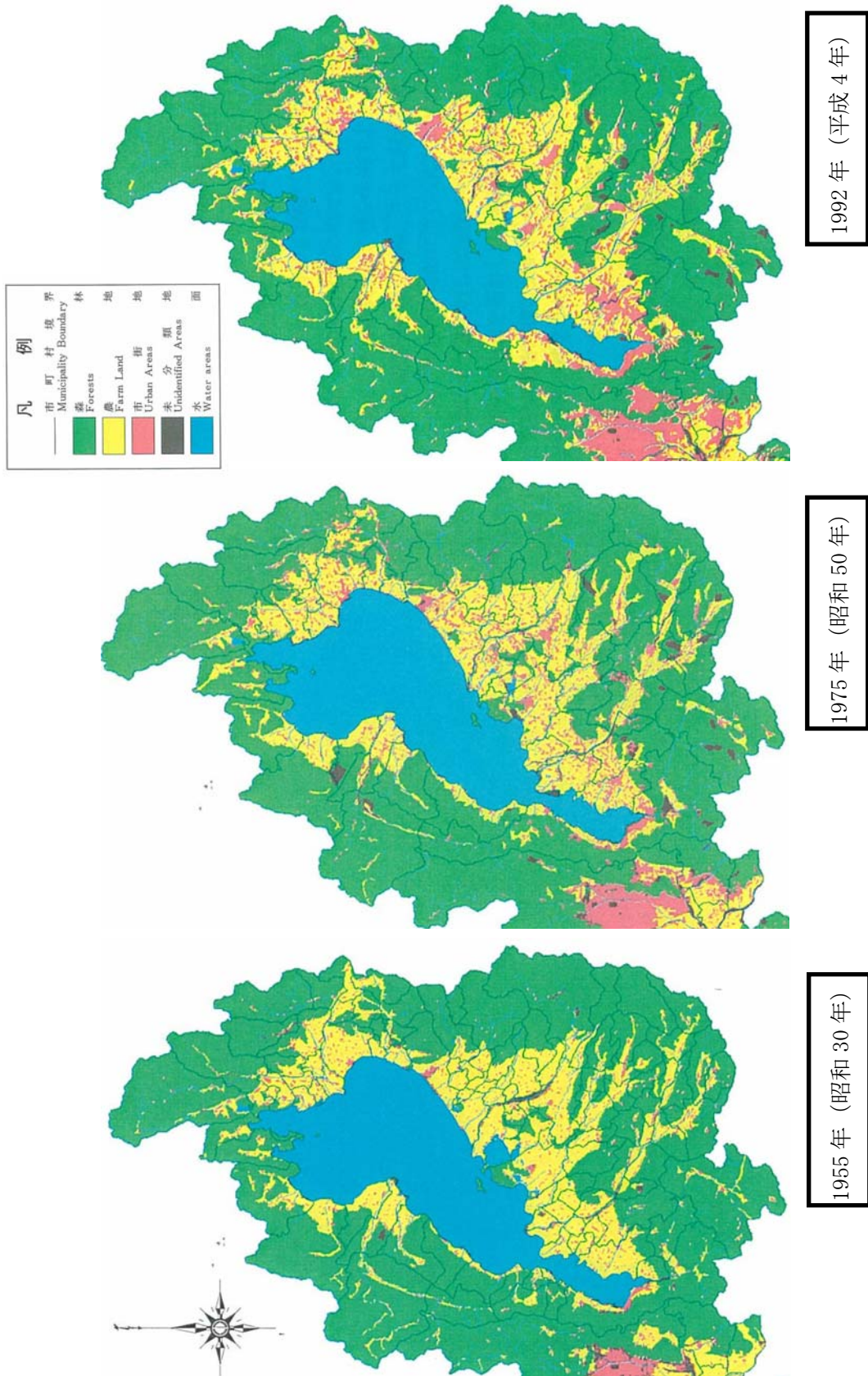


図 7.2-6 琵琶湖流域の土地利用状況

(上：1992年(平成4年)、中：1975年(昭和50年)、下：1955年(昭和30年))

出典：「琵琶湖博物館 研究調査報告書6号」(1998年(平成10年)),滋賀県

7.2.2 立地特性

(1) 琵琶湖へのアクセス

琵琶湖は大阪から北東へ40km、京都より東へ10kmのところの位置し、琵琶湖周辺は古来より交通網が発達してきた。大阪都心部から自動車で名神高速道路を利用して約1時間（大津市内）、JR 東海道、京阪線を利用して約1時間（大津駅、浜大津駅）でアクセスでき、また、京都からは自動車で名神高速道路を利用して20分（大津市内）、市営地下鉄、京阪線を利用して30分（浜大津駅）の位置にある。更に、琵琶湖周辺の交通網が発達していることから周辺地域へのアクセスも容易である。また、琵琶湖開発事業による湖岸堤管理道路は県道としての供用も行われており、観光や流通の他、県民生活にとっても重要な道路として利用されている（図 7.2-7、図 7.2-8）。

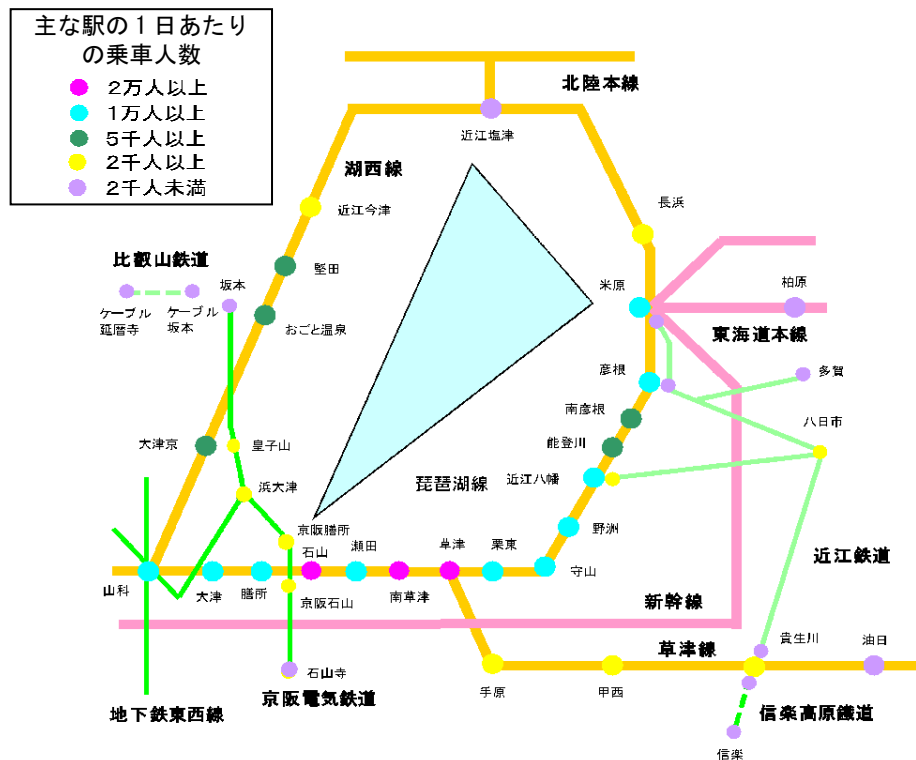


図 7.2-7 周辺都市からの交通網

出典：「しが統計ハンドブック(2013年版)」(2013年(平成25年)3月)、滋賀県総合政策部統計課

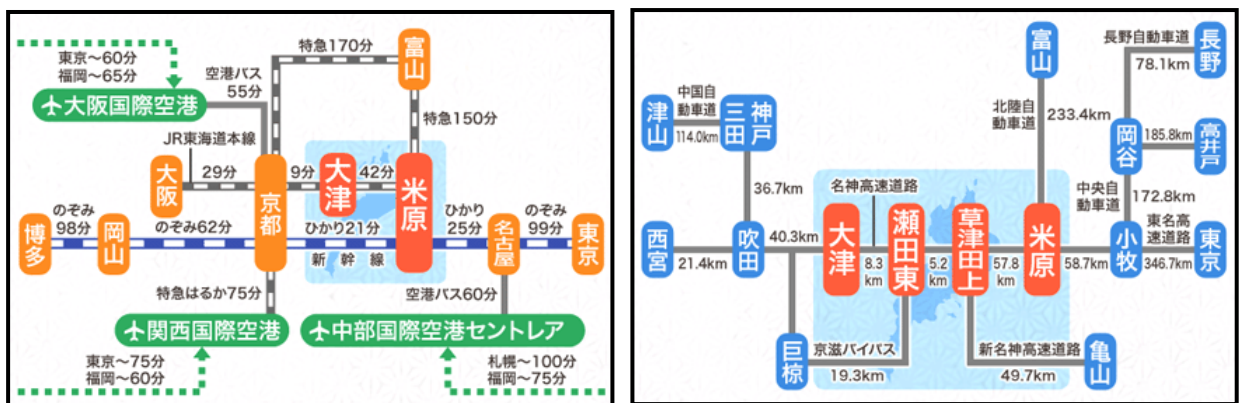
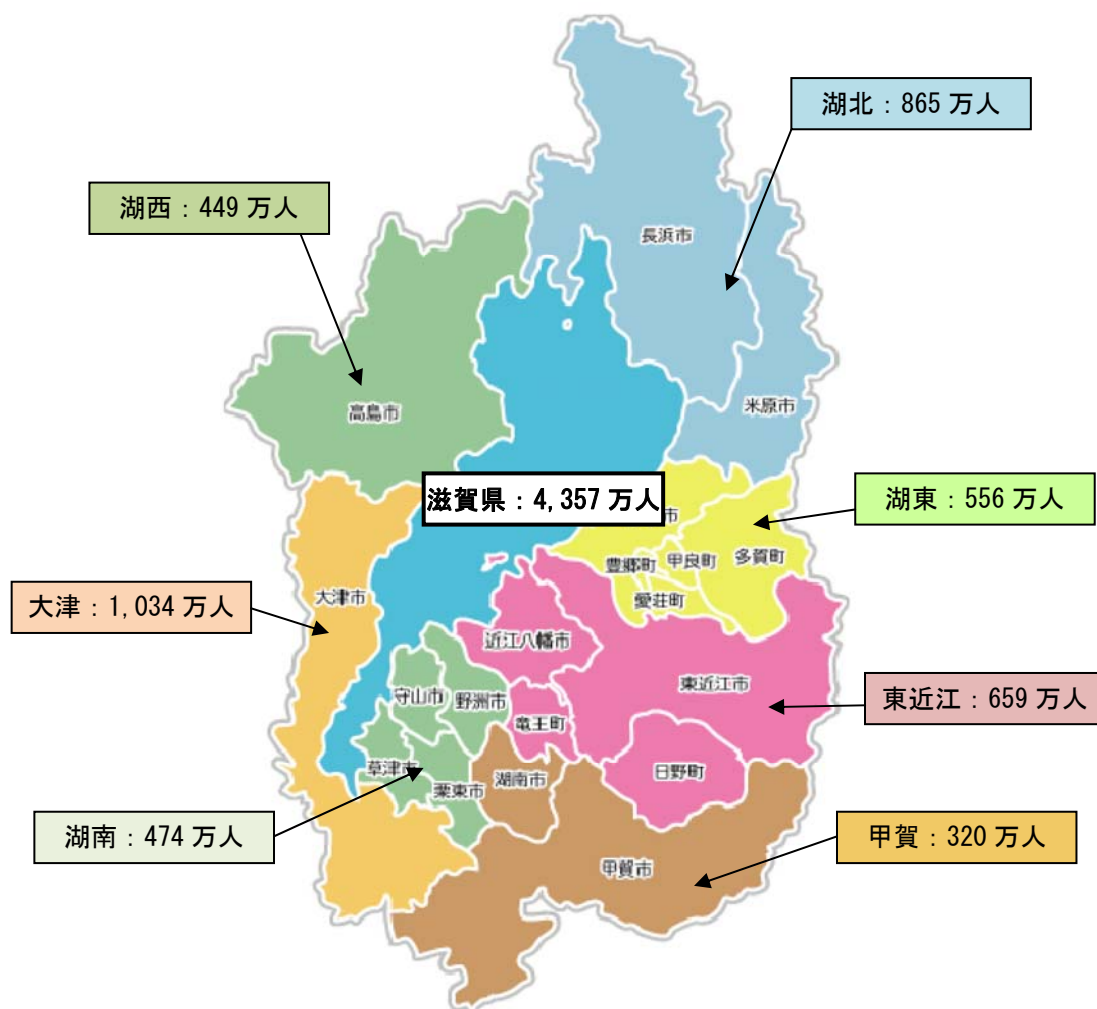


図 7.2-8 滋賀県へのアクセス

出典：滋賀県観光情報(2013年(平成25年)10月現在)、公益社団法人びわこビジターズビューローHP

(2) 周辺の観光施設等

琵琶湖周辺には、様々な観光資源があり、図 7.2-9 に示すように多くの人が訪れている。流域の代表的な観光資源としては、琵琶湖の美しい景色として「琵琶湖八景」や「近江八景」といった名称で知られている。



	滋賀県	京都府	大阪府	奈良県	三重県
観光客数（万人）	4,357	7,674	15,883	4,464	3,562

図 7.2-9 琵琶湖周辺の観光入込み数（平成 22 年）

出典：滋賀県地図(2011 年(平成 23 年)5 月), 滋賀県

入込み数 滋賀県：「平成 22 年滋賀県観光入込客統計調査書」（2013 年(平成 25 年)2 月), 滋賀県商工観光労働部観光交流局
 京都府：「平成 23 年(2011 年)京都府観光入込客調査報告書」（2012 年(平成 24 年)8 月), 京都府商工労働観光部
 大阪府：「大阪府観光統計調査報告書平成 22 年版」（2012 年(平成 24 年)1 月), 大阪府府民文化部都市魅力創造局国際交流・観光課
 奈良県：「平成 23 年奈良県観光客動態調査報告書」, 奈良県観光局ならの魅力創造課
 三重県：「平成 24 年刊三重県統計書」（2012 年(平成 24 年)), 三重県戦略企画部統計課分析・情報班

琵琶湖周辺の観光施設等を図 7.2-10 ～ 図 7.2-14、表 7.2-4 ～ 表 7.2-6 に示す。

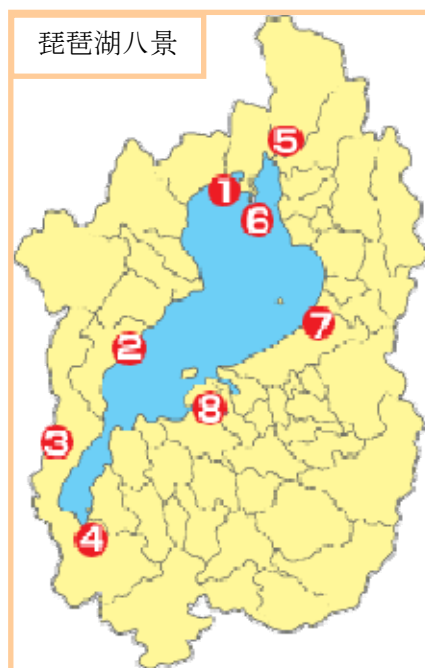


図 7.2-10 琵琶湖周辺の観光名所等

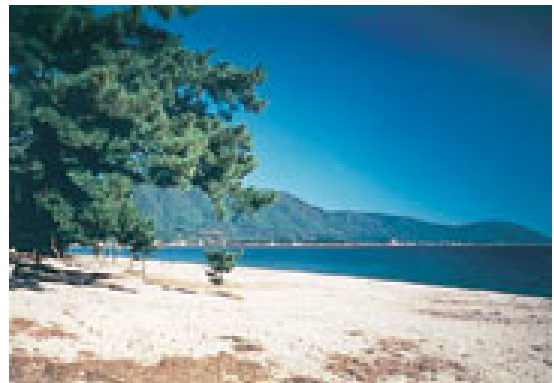
表 7.2-4 琵琶湖周辺の観光名所等

名 称	概 要	所在地
①「暁霧」海津大崎の岩礁	荒々しく、雄大な風景が見られ湖面から立ちのぼる霧が岩礁をつつんで、幻想的です。	高島市 マキノ町
②「涼風」雄松崎の白汀	“松は緑に砂白き...”と、「琵琶湖周航の歌」に歌われています。	大津市 志賀町
③「煙雨」比叡の樹林	深い樹林の中に、延暦寺などが建ちならび、雨にかすむ静かな雰囲気を感じられます。	大津市 坂本本町
④「夕陽」瀬田石山の清流	夕日に映える瀬田川の流れには日本三名橋の一つ唐橋がかかり、美しい風景です。	大津市 瀬田
⑤「新雪」賤ヶ岳の大観	賤ヶ岳は、羽柴秀吉と柴田勝家が戦った「賤ヶ岳の合戦」でその名を歴史にとどめています。	長浜市 木之本町
⑥「深緑」竹生島の沈影	深い緑に包まれ、青い水面に映る島影はびわ湖を代表する風景の一つです。	長浜市 早崎町
⑦「月明」彦根の古城	月明かりに浮かび上がる古城は、訪れる人々に歴史の重みを感じさせます。	彦根市
⑧「春色」安土八幡の水郷	西の湖を中心に水路が網の目のように広がり、ヨシ群落の中を水郷めぐりができます。	近江八幡市 安土町

出典：滋賀県観光関連資料(2012年(平成24年)3月更新), 滋賀県広報課 HP



「暁霧」海津大崎の岩礁



「涼風」雄松崎の白汀



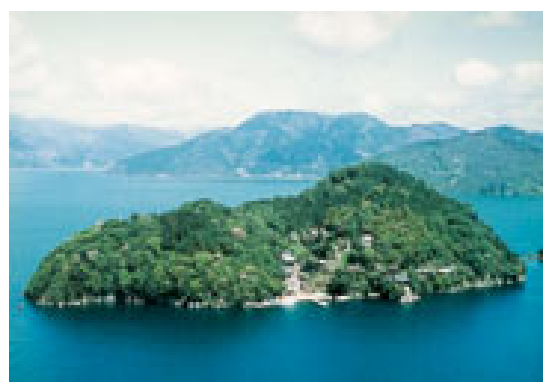
「煙雨」比叡の樹林



「夕陽」瀬田石山の清流



「新雪」賤ヶ岳の大観



「深緑」竹生島の沈影



「月明」彦根の古城



「春色」安土八幡の水郷

図 7.2-11 琵琶湖周辺の観光名所等

出典：滋賀県観光関連資料(2012年(平成24年)3月更新), 滋賀県広報課 HP



図 7.2-12 琵琶湖周辺の観光名所等
 出典：滋賀県観光関連資料(2012年(平成24年)3月更新), 滋賀県広報課 HP

表 7.2-5 琵琶湖周辺の観光名所等

比良の暮雪 (ひらのぼせつ)	堅田の落雁 (かたたのらくがん)	唐崎の夜雨 (からさきのやう)	三井の晩鐘 (みいのばんしょう)
			
栗津の晴嵐 (あわづのせいらん)	矢橋の帰帆 (やばせのきはん)	瀬田の夕照 (せたのせきしょう)	石山の秋月 (いしやまのしゅうげつ)
			

出典：滋賀県観光関連資料(2012年(平成24年)3月更新), 滋賀県広報課 HP

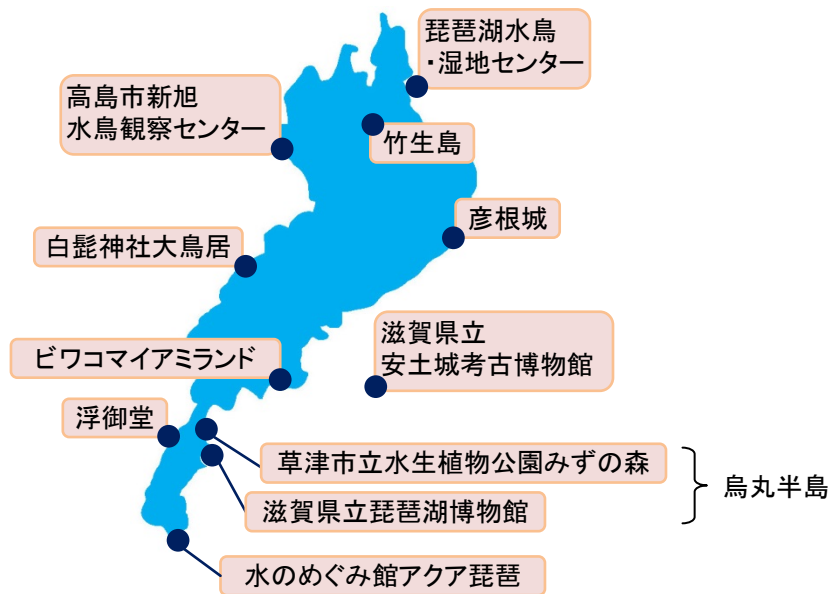


図 7.2-13 琵琶湖周辺の観光名所等

出典：文献リスト No. 7-18

表 7.2-6(1) 琵琶湖周辺の観光名所等

名称	概要	所在地
ビワコマイアミランド	平成6年(1994年)4月にオープンしたビワコマイアミランドは、琵琶湖国立公園湖岸緑地マイアミ・アヤマ浜園地にあり、沖島と雄大な比良山系を背景に白砂青松の素晴らしい環境にあります。この恵まれた大自然の中で、のんびりとキャンプやテニス、ローンフィールド、バードウォッチング等を楽しめます。また、四季折々の美しさの中で、野鳥公園、アイリスパーク等の自然を満喫できます。	野洲市
烏丸半島	草津市域の最北、琵琶湖に突き出す烏丸半島周辺には約13ha(平成16年10月1日撮影の航空写真より計測：草津市商工観光労政課提供)にも及ぶのが国有数の蓮の群生地があり、琵琶湖の原風景といわれるヨシ原が今もその姿をとどめています。毎年盛夏の頃にはこの広大な景観が多く観光客の目を楽しませます。半島ではこうした自然環境の保全をモチーフにした「水生植物公園みずの森」、「くさつ夢風車」(風力発電施設)、「琵琶湖博物館」が、また、「UNEP(国連環境計画)国際環境技術センター」があり、水環境の保全にかかるノウハウと情報を世界に向けて発信する拠点となっています。	草津市
高島市新旭水鳥観察センター	センターの大きな窓からは穏やかな琵琶湖の入江が一望でき、望遠鏡で見ると、北方から渡ってきた水鳥たちの細やかな仕草がよく分かります。湖岸のコースを歩くとさらに、たくさんの鳥たちが身近に感じられます。	高島市
琵琶湖水鳥・湿地センター	県内随一の野鳥の生息地である湖北町水鳥公園の拠点施設です。湖北野鳥センターでは、設置された望遠鏡(20台)でセンター前の湖岸に羽根を休める野鳥を観察することができます。	長浜市
浮御堂	近江八景「堅田の落雁」で名高い浮御堂は、寺名を海門山満月寺という。平安時代、恵心僧都が湖上安全と衆生済度を祈願して建立したという。現在の建物は昭和12年の再建によるもので、昭和57年にも修理が行われ、昔の情緒をそのまま残している。境内の観音堂には、重要文化財である聖観音坐像が安置されている。	大津市

出典：滋賀県観光情報(2013年(平成25年)10月現在)、公益社団法人びわこビジターズビューローHP

表 7.2-6(2) 琵琶湖周辺の観光名所等

名 称	概 要	所在地
白鬚神社大鳥居 ※1	湖中に朱塗りの大鳥居があり、国道 161 号線をはさんで社殿が鎮座します。「白鬚さん」（しらひげさん）、「明神さん」の名で広く親しまれ、また近江の叡島（いつくしま）とも呼ばれる近江最古の大社です。社名のとおり、延命長寿・長生きの神様として知られ、また、縁結び・子授け・開運招福・学業成就・交通安全・航海安全など、人の営みごと、業ごとすべての「導きの神」でもあります。祭神は猿田彦命（さるたひこのみこと）です。創建 1900 年の歴史を誇り、現在の社殿は豊臣秀吉の遺命によって、その子秀頼が片桐且元（かたぎりかつもと）を奉行として造営したものです。	高島市
竹生島	沖合約 6km に浮かぶ周囲 2km あまりの小島で、宝厳寺と都久夫須麻神社が祀られています。宝厳寺の本尊は弁才天と千手観音。弁才天は安芸の宮島、相模の江島とともに日本三弁天に数えられています。また、中世以来西国三十三所観音霊場の三十番札所として多くの参詣客で賑わっています。	長浜市
彦根城	姫路城などとともに天下の名城の一つに数えられる彦根城は、井伊直継（なおつぐ）・直孝（なおたか）によって約 20 年の歳月をかけて建設され、元和 8 年（1622）に完成しました。佐和（さわ）山城・安土城・長浜城・大津城の石垣や用材が使われました。月明かりに浮かぶ彦根城は美しく、琵琶湖八景の 1 つに数えられています。	彦根市
滋賀県立琵琶湖博物館	訪れる人たちと博物館が双方向に交流できる「体感型」博物館です。湖と人間のよりよい共存関係をめざすための入り口となり、びわ湖の足あとをたどれます。各コーナーでは「湖と人間」をテーマに、琵琶湖の誕生から現在までの生い立ちや人や生き物とのかかわりについて、楽しみながら学ぶことができます。	草津市
草津市立水生植物公園みずの森 ※2	三方を豊かな琵琶湖の自然に囲まれた心安らぐ植物園です。見どころは四季を彩る草花が美しい「丘上の花園」や、水生植物と草花が織りなすハーモニーが幻想的な「花影の池」等。なかでもスイレンのコレクションは日本最多で、他では見られない水生植物が観察できます。7 月下旬には、ハス祭りが行われます。	草津市
水のめぐみ館ア クア琵琶	琵琶湖と淀川の治水と利水について、さまざまな角度から紹介するコミュニケーションスペース。模型やパネル紹介、キャラクター・ピワズくんが出題するパソコンゲームで琵琶湖をじっくり学べる。屋外に設けられた「雨体験室」では世界最大の雨が体験できる。	草津市
滋賀県立安土城 考古博物館	当館は、特別史跡安土城跡・史跡大中の湖南遺跡・史跡瓢箪山古墳・史跡観音寺城跡からなる歴史公園「近江風土記の丘」の中核施設として平成 4 年に開館しました。第 1 常設展示室では「考古」をテーマに弥生時代、古墳時代の近江にタイムスリップします。第 2 常設展示室では、「中世・戦国時代」をテーマに、安土城をはじめとする城郭の変遷や織田信長の人物像にせまります。	近江八幡市

出典：滋賀県観光情報(2013年(平成25年)10月現在)、公益社団法人びわこビジターズビューローHP
(マイアミランド:2010年(平成22年)7月6日現在、烏丸半島:2010年(平成22年)7月22日現在、
新旭水鳥観察センター:2010年(平成22年)3月31日現在、琵琶湖水鳥・湿地センター:2010年
(平成22年)6月7日現在、浮御堂:2012年(平成24年)1月23日現在、竹生島:2012年(平成24
年)7月12日現在、琵琶湖博物館:2010年(平成22年)11月10日現在、彦根城:2011年(平成23
年)3月27日現在、水のめぐみ館アクア琵琶:2011年(平成23年)3月23日現在、滋賀県安土城
考古学博物館:2011年(平成23年)6月26日現在)

※1 白鬚神社大鳥居:「高島市観光情報」(2013年(平成25年)10月現在)、高島市HP

※2 草津市立水生植物公園みずの森:草津まるごとガイド(2013年(平成25年)10月現在)、草津市観
光物産協会HP (<http://www.kanko-kusatsu.com/spot/387>)



マイアミランド



烏丸半島



高島市新旭水鳥観察センター



琵琶湖水鳥・湿地センター



浮御堂



白鬚神社大鳥居



竹生島



彦根城

図 7.2-14(1) 琵琶湖周辺の観光名所等

出典：文献リスト No. 7-18



滋賀県立琵琶湖博物館



草津市立水生植物公園みずの森



水のめぐみ館アクア琵琶



滋賀県立安土城考古博物館

図 7.2-14(2) 琵琶湖周辺の観光名所等

出典：文献リスト No. 7-18

7.3 事業と地域社会情勢の変遷

7.3.1 琵琶湖と地域社会の変遷

琵琶湖と地域社会の変遷について表 7.3-1 に示す。

表 7.3-1 琵琶湖流域社会の歴史の変遷

年代	元号	西暦	日本の主なできごと	琵琶湖流域社会の変遷			
明治	明治	1	明治維新	大津県がおかれる 鳥居川量水標設置 大戸川流域直轄砂防事業はじまる 琵琶湖第一疏水、インクライン完成 彦根測候所開設 淀川河川法できる。県下大洪水(+3.73m) 南郷洗ぜき完成(延長100間、工事費約25万円) 琵琶湖第二疏水工事完成			
		7					
		11					
		23					
		26					
		29					
		38					
大正	大正	2	第一次世界大戦始まる	宇治川発電所完成 京大、大津臨湖実験開設 伊吹山観測所気象観測開始 大津柳ヶ崎水泳場、県下初の公衆水泳場とし開設			
		3					
		8					
		14					
		15			昭和	太平洋戦争勃発	瀬田町で琵琶湖からの逆水かんがい成功 県営琵琶湖干拓地決定(松原、曾根沼等の内湖) 琵琶湖国定公園指定(日本では最初の国定公園) 比叡山ドライブウェイ開通 瀬田川洗ぜき完成 琵琶湖大橋、天ヶ瀬ダムできる。 大中ノ湖南遺路本格的調査 南郷水産センターできる。大中ノ湖干拓ほぼ完成 三上、田上、信楽を県立自然公園に指定。 県公害防止条例できる
		16					
		19					
25							
33							
36							
39							
平成	平成	4	国土総合開発法公布 下水道法成立 水資源開発二法成立 新河川法成立 水質汚濁防止法成立 琵琶湖総合開発特別措置法成立 琵琶湖総合開発特別措置法の一部改正法が成立 湖沼水質保全特別措置法成立	滋賀県自然環境保全条例できる 琵琶湖開発事業着手 国鉄湖西線が開業 琵琶湖に赤潮発生 野洲川放水路通水「琵琶湖富栄養化防止条例」施行 草津市矢橋の湖南中部流域下水道浄化センター 第一期工事が完成した供給開始 沖島特定環境保全公共下水道が完成 第1回世界湖沼会議開催			
		5					
		6					
		7					
		8					
		9					
		12					
		13					
		15					
		16					
		17					
		23					
24							
平成	平成	4	阪神・淡路大震災	琵琶湖開発 管理開始 琵琶湖、ラムサール条約登録湿地に認定 北湖に初のアオコ発生、琵琶湖大濁水(-1.23m、9/15) 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例公布 滋賀県環境基本条例の施行 琵琶湖総合開発事業終結			
		5					
		6					
		7					
		8					
		9					
		12					
13							
15	河川法改正 琵琶湖総合開発特別措置法失効	滋賀県「マザーレイク計画」を策定 第9回世界湖沼会議開催 第3回世界水フォーラム開催					
16							
17							
23							
24							
2000			「外来生物法」「景観法」制定	「琵琶湖淀川流域圏の再生計画」策定 「マザーレイク21計画(第2期)」改訂 「第6期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画」策定			
2001							
2003							
2004							
2005							
2011							
2012							

出典：「琵琶湖水環境図説」、建設省近畿地方建設局 琵琶湖工事事務所（現 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所）に一部加筆

7.3.2 近年の動向

(1) マザーレイク 21 計画

マザーレイク 21 計画(琵琶湖総合保全整備計画)は、健全な琵琶湖を次世代に引き継ぐため、県民総ぐるみによる琵琶湖総合保全の指針として、国の関係する旧 6 省庁(国土庁(現、国土交通省)、環境庁(現、環境省)、厚生省(現、厚生労働省)、農林水産省、林野庁、建設省(現、国土交通省))による琵琶湖の総合的な保全のための計画調査を踏まえて、2000 年(平成 12 年)3 月に滋賀県が策定した。

その後、2010 年(平成 22 年)度までの第 1 期計画期間の評価を踏まえて第 2 期計画期間の目標を設定し、2011 年(平成 23 年)10 月に「マザーレイク 21 計画」<第 2 期改訂版>を滋賀県が策定した。

□ マザーレイク 21 計画の理念

《基本理念》琵琶湖と人との共生

琵琶湖を健全な姿で次世代に継承します。

- 《基本方針》
- ① 共感 人々と地域との幅広い共感
 - ② 共存 保全と活力のある暮らしの共存
 - ③ 共有 後代の人々との琵琶湖の共有

《全県をあげた取組－協働－》

県民、事業者の主体的な取組を基本に、各主体が積極的に取り組み、これを支援するため、県と市町は連携を図ることとしている。

また、河川流域単位に、県民、事業者、市町、県等の各主体が一体となって取り組むこととしている。

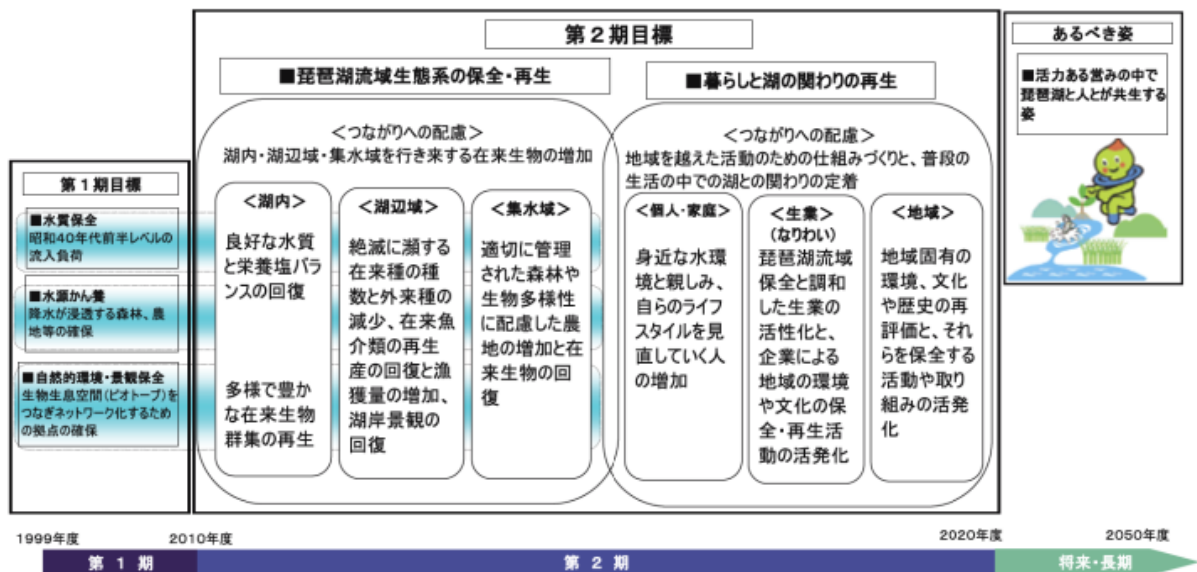


図 7.3-1 計画の目標及び対策と長期ビジョン (マザーレイク 21 計画)

出典：「琵琶湖総合保全整備計画 マザーレイク 21 計画 (第 2 期改訂版)」(2011 年(平成 23 年)10 月), 滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課

(2) 水辺エコトーンマスタープラン

2004年（平成16年）3月に、マザーレイク21計画の基本的方向の柱である自然的環境・景観保全の取り組みの一環として、湖辺域ビオトープの保全・再生に向けて『水辺エコトーンマスタープラン』を滋賀県が策定した。

水辺エコトーンマスタープランに基づき、湖辺域の水域移行帯（エコトーン）の保全再生（Ex: ヨシ群落保全計画）を進め、琵琶湖固有の生態系を保全し、水産資源確保の観点から外来魚対策にも取り組んでいる。

(3) 琵琶湖・淀川流域圏の再生

1) 都市再生のプロジェクト

2003(平成15)年11月28日、第6次都市再生プロジェクト「琵琶湖・淀川流域圏の再生」の実現を図るため、関係省庁及び地方公共団体等が、流域全体での一体的な取り組み体制を構築し、再生計画を策定した。「水でつなぐ“人・自然・文化”」を基本コンセプトに流域圏の関係機関が連携し、「歴史・文化を活かし自然と共生する流域圏・都市圏の再生」の実現を図ることとしている。

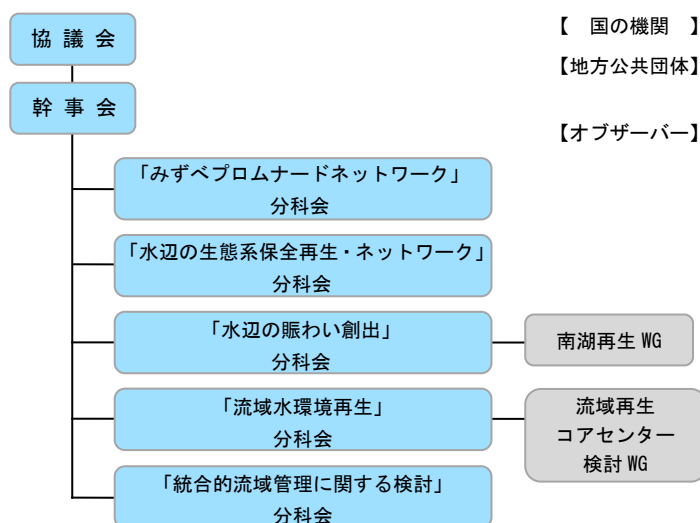
本計画の計画期間は、概ね今後5～10年間での具体化を目標とするが、より長期的（概ね20～30年間）な見通しを踏まえながら取り組むこととなっている。

2) 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会は、琵琶湖・淀川流域圏の再生協議会において、策定された「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」（以下「再生計画」という。）について、統合的流域管理の視点に立ち、各分野にまたがり地域を超えて各行政機関が協議・調整を行うとともに、再生プログラムの達成度・効果等の評価を行い、再生計画の具体的な推進を図ることを目的に設置された。

琵琶湖・淀川流域圏再生協議会は、「協議会」「幹事会」「分科会」の3つの構成となっている。

協議会の構成図



協議会メンバー表

【 国の機関 】 国土交通省、農林水産省、林野庁、経済産業省、環境省

【 地方公共団体 】 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
京都市、大阪市、天津市

【 オブザーバー 】 内閣官房地域活性化統合事務局

図 7.3-2 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会の仕組み

3) 琵琶湖・淀川流域圏の再生の推進

「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」は、琵琶湖・淀川流域圏を健全な姿で次世代に継承するため、「水でつなぐ“人・自然・文化”」を基本コンセプトに、流域圏のあらゆる関係機関が連携して本計画を推進し、「歴史・文化を活かし自然と共生する流域圏・都市圏の再生」の実現を目指すこととしている。

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会では、5つの再生プログラムを構築し、達成度、効果等の評価を年度ごとに行っている。

みずべプロムナードネットワーク

琵琶湖・淀川流域圏の水辺を、舟運・サイクリング・ウォーキング等でゆったりと味わい・楽しみ・学びながら、周遊できる水辺のネットワークを構築する。

水辺の生態系保全再生・ネットワーク

淡水生物の宝庫である琵琶湖・淀川流域圏の多様な生態系を保全再生するため、希少種等の在来種の保全を視野に入れ、それらを取り巻く生物の生息・生育環境を保全再生する。

水辺の賑わい創出

琵琶湖・淀川流域圏において、まちに潤いをもたらす「せせらぎの創出」、水辺にふれあい、楽しむことができる「親水空間の再生・創出」を図り、人々が集い、活気に満ちた水辺を創出する。

流域水環境再生

琵琶湖・淀川流域圏の水環境に関する様々な課題に対して、森林地域や農村地域だけではなく、流域の恵みを享受する都市部が一体となり、豊かな水を育む森林・農用地の保全及び再生や、河川や湖沼のさらなる水質改善、安定した水量の確保を図り、健全な水環境を実現する。

流域連携

琵琶湖・淀川流域圏の各種課題に対し、地域間・主体間・分野間で連携した一体的な取り組みを継続性のあるものとするため、行政間の連携を推進する組織、市民・NPO・自治体等のネットワークの構築、また、これらを連携する組織を設置する。

4) 南湖再生 WG

南湖を再生させるに当たっては、浚渫等による固定環境整備、水草異常繁茂対策、点源・面源からの流入負荷対策等様々な取り組みが必要である。各課題に関し、各機関が取り組んでいる調査・研究・対策について情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。現在実施されている主な取り組みは次のとおりである。

①産卵環境に配慮した瀬田川洗堰操作

②ヨシ群落保全・再生事業

③水草異常繁茂対策

④魚のゆりかご水田整備事業

(その他、多数あり)

(4) 淀川水系流域委員会

1997年(平成9年)の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が目的に追加された。また、これまでの「工事実施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20~30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが導入された。

「淀川水系流域委員会」は、淀川水系の「河川整備計画」策定にあたり、学識経験を有する者の意見を聴く場として、2001年(平成13年)2月1日に近畿地方整備局によって設置された。その後、多くの議論がなされ、2009年(平成21年)3月31日に、「淀川水系整備計画」が策定された。

淀川水系流域委員会には琵琶湖部会が設置され、水陸移行帯の回復について議論がされた。これを受けて国土交通省は、琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度により「水陸移行帯WG」を設置し、瀬田川洗堰の試行操作について意見をいただいている。



[トップページ](#) | [サイトマップ](#)

淀川水系流域委員会は、淀川水系の「河川整備計画の案」の策定について学識経験を有する者から意見を聴く場として、平成13年2月1日に国土交通省近畿地方整備局によって設置されました。淀川水系流域委員会では委員会の活動を広く発信するとともに、みなさまからたくさんのご意見をいただくことを目的としてホームページを立ち上げています。

淀川水系流域委員会とは 意見書等 会議内容・議事録 ニュースレター 関連リンク 参加する ご意見受付 寄せられたご意見	会議のお知らせ	最近開催された委員会 平成21年8月3日(月) 第88回委員会が開催されました。
	更新情報 ・2009.08.24：進捗点検についての意見書(最終版)を掲載しました。 ・2009.08.19：第88回委員会議事録を掲載しました。 ・2009.08.17：ニュースレター第59号を掲載しました。 ・2009.08.12：一般からのご意見No1177~1180を掲載しました。 ・2009.08.12：第88回委員会結果報告を掲載しました。 ・2009.08.04：第88回委員会配付資料を掲載しました。 ・2009.07.31：第87回委員会議事録を掲載しました。 ・2009.07.24：委員からの意見No47を掲載しました。 ▶ これ以前の更新履歴	淀川水系流域委員会 現在の動き
淀川水系河川整備計画原案 (平成19年8月28日)に対する意見 淀川水系河川整備計画 における取り組み (近畿地方整備局)	ご意見・お問い合わせ <input type="checkbox"/> 近畿地方整備局 河川部河川計画課 TEL:(06) 6942-1141(代) E-mail: river-PR@kkrlmit.go.jp	PDFファイルをご覧いただくためには、AdobeReaderが必要です。お持ちでない方はダウンロードしてください。

[トップページ](#) | [淀川水系流域委員会とは](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)
 Copyright(C) 2007 淀川水系流域委員会 All Rights Reserved.

図 7.3-3 淀川水系流域委員会の取り組み

出典：「淀川水系流域委員会 HP」(2013年(平成25年)10月現在), 国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課

7.3.3 地域連携のための水資源機構の取り組み

(1) 琵琶湖沿岸の治水対策

琵琶湖沿岸の治水対策として、内水排除操作は重要であるが、管理開始以降20年以上経過し、地域との窓口である県事務所や市関係者すら、農地が一時的に浸水することを理解していない場合もあり、琵琶湖沿岸の治水対策及び内水排除操作の計画について継続して確実に伝えていくことが重要である。

水資源機構では、内水排除操作における操作の状況等を機構から直接伝える県土木事務所及び市関係者に対し、毎年出水期前に各地区（湖南地区、東近江地区、湖北地区、湖西地区）に「施設管理連絡会」を開催し、琵琶湖開発事業の内容、水機構の管理施設、施設管理の業務内容、内水排除操作の方法と伝達手段について説明するとともに、排水機場のポンプ運転があっても浸水初期には農地等が一時的に浸水することを伝えている。平成24年度からは県土木事務所だけでなく、農業振興事務所の方にも参加を得ている。

また、「施設管理連絡会」とは別に「排水機場説明会」を開催し、土地改良区や地元自治会役員に対して、ほぼ同様の説明を行うとともにポンプの試運転状況も見学して頂き、内水排除操作の理解を深めて頂いている。

(2) 琵琶湖及びその流域で実施されたイベント

琵琶湖開発事業と地域社会との関わりとして、琵琶湖及びその流域で実施された近年5カ年の主要なイベントの概要を表7.3-2に示す。また、いくつかのイベントの実施風景を図7.3-4、図7.3-5に示す。

表 7.3-2(1) 近年5カ年における主要なイベント一覧

開催日	イベント	概要
4月23日	アサザ勉強会	昨年度末、堤脚水路改修工事の実施にあたり支障となるアサザを地元地区内排水路と地元小学校内ピオトープに移植。移植後、移植先小学校の児童を対象に、県立大学の准教授、県自然環境保全課担当者及び水機構担当でアサザの勉強会を実施。
5月20日	出前講座	枚方市立招提小学校（大阪府） 5年生86名
5月30日	ニゴロブナの仔魚放流イベント	田んぼ池上流水田のニゴロブナ仔魚放流試験の一環で、幼稚園児による放流イベントを実施した。水資源機構主催、新旭町太田区共催、協力：(財)滋賀県水産振興協会
6月4日	出前講座	杉中学校（大阪府） 2年生40名
6月12日	出前講座	能登川北小学校（滋賀県） 4年生16名
6月28日	出前講座	大津市堅田地区児童（滋賀県） 30名
6月28日	フナ放流	地元小学生等が田んぼ池でフナを捕まえて日野川へ放流。佐波江自治会主催。
6月28日	ハマゴウ保全	昨年設置したハマゴウ保全施設の補修。佐波江浜で実施。水機構主
7月1日	「琵琶湖の日」清掃活動	琵琶湖湖岸の清掃活動。滋賀県内各地で実施。滋賀県、市町村の職員その他企業・団体、住民等参加 滋賀県主催
7月4日	出前講座	小津小学校（滋賀県） 5年生34名
7月10日	環境学習会	ヨシ苗作り体験学習。野洲市中主小学校で実施。環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」主催。
7月11日 ～13日	琵琶湖・水辺の環境展	イオン鶴見で実施。「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」（市・県・土地改良区・漁協・国・機構）の取組として、下流住民を対象として琵琶湖の役割、琵琶湖の持つ自然の豊かさ、についてアピール。
7月26日	親と子の琵琶湖たいけん教室	琵琶湖・淀川流域に在住する小学生の親子を対象として、観光船で琵琶湖をクルージングしながら、水質調査や顕微鏡でプランクトンの観察、講師による講座等を実施。アクア琵琶、国土交通省琵琶湖河川事務所、水資源機構の3者共同主催
8月9日	出前講座	山田小学校（滋賀県） 親子20名
8月20日	体験学習	ピオトープでの自然体験学習。家棟川で実施。滋賀県主催。
8月25日	あやめ浜まつり	船で琵琶湖見学、浜での自然体験、湖魚を食べる。野洲市主催。
9月7日	滋賀県総合防災訓練	長浜市で実施。滋賀県他8市町が主催。
9月28日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ駆除。草津市矢橋で実施。近江ウエットランド研究会主催、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課、びわ湖自然環境ネットワーク協力
10月5日	自然観察会	カヌー川下り等自然観察会。高島市新旭町で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催。
10月11日	特定外来生物指定植物種の駆除	アカエツルケイトリ駆除。来向川樋門で実施。
10月18日	出前講座	草津市新浜老上学区（滋賀県） 親子70名
11月7日 ～9日	琵琶湖・水辺の環境展	大阪市水道記念館で実施。「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」（市・県・土地改良区・漁協・国・機構）の取組として、下流住民を対象として琵琶湖の役割、琵琶湖の持つ自然の豊かさについてアピール。
12月1日	環境美化の日	清掃活動大津駅周辺で実施。滋賀県主催。
12月7日	ヨシ刈りイベント	針江浜で実施。高島市主催。
12月13日	ヨシ植栽・松林整備	琵琶湖湖岸の美しい景観を保全するための湖岸堤前浜の整備の一環として、地域の住民と連携し、チップ材を敷き均して歩道を設置したほか、湖岸にヨシ植栽を実施した。野洲市、水資源機構の共催、菖蒲区民の皆さんの協力を得て実施。
12月14日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ駆除。草津市矢橋で実施。
12月18日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ駆除。草津市新浜で実施。
1月18日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ駆除。草津市矢橋で実施。
2月10日	出前講座	仰木の里小学校（滋賀県） 6年生51名

出典：文献リスト No. 7-22

表 7.3-2(2) 近年5カ年における主要なイベント一覧

開催日	イベント	概要
6月22日	出前講座	能登川北小学校（滋賀県） 4年生28名
6月27日	ハマゴウ保全	佐波江浜で下刈草実施。水機構主催。
7月1日	「琵琶湖の日」清掃活動	琵琶湖湖岸の清掃活動。滋賀県内各地で実施。滋賀県、市町村の職員その他企業・団体、住民等参加 滋賀県主催
7月12日	針江地区環境美化活動	水草の刈取・河川清掃・水草調査。中島自然池で実施。生水の郷委員会主催。
7月12日	よしよしプロジェクト	粗朶消波工補修、ヨシ植栽。大津市中浜で実施。FLBびわ湖自然環境ネットワーク主催。
7月18日 ～19日	琵琶湖・水辺の環境展	環境保全（魚を増やす）の取組や琵琶湖や田んぼに生息する魚について情報発信。大阪市水道記念館で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催
7月23日	出前講座	近江八幡市小学生1～6年生11名。
8月24日	あやめ浜まつり	ニゴロブナ稚魚の琵琶湖への放流の他、湖岸のゴミ拾い等を実施。野洲市あやめ浜で実施。野洲市主催。
10月4日	自然観察会	カヌー川下り等での自然観察会。高島市新旭町で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催。
10月24日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミスヒマワリ・ナガエツルノゲイトリ駆除。
10月25日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミスヒマワリ・ナガエツルノゲイトリ駆除。
10月25日	滋賀県総合防災訓練	彦根市で実施。滋賀県主催。
10月29日	出前講座	米原中学校（滋賀県） 2年生72名
10月31日	家棟川ビオトープ観察会	魚等を捕獲して生き物調査を実施。野洲市野田で実施。滋賀県自然環境研究会主催。
11月7日	琵琶湖・水辺の環境展	環境保全（魚を増やす）の取組。琵琶湖や田んぼに生息する魚について情報発信。イオンモール草津で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催
12月5日	ヨシ植栽・松林整備	琵琶湖湖岸の美しい景観を保全するための湖岸堤前浜の整備の一環として、地域の住民と連携し、チップ材を敷き均して歩道を設置したほか、湖岸にヨシ植栽を実施した。野洲市、水資源機構の共催、菖蒲区民の皆さん他の参加。
12月6日	ヨシ刈りイベント	針江浜で実施。高島市主催。
2月23日	伊庭内湖清掃	ごみ拾い。能登川漁業協同組合主催
3月27日	こなん水環境フォーラム	琵琶湖総管環境保全のパネル展示。野洲市で実施。

2009
(H21)

出典：文献リスト No. 7-23

表 7.3-2(3) 近年5カ年における主要なイベント一覧

開催日	イベント	概要
5月16日	新旭浜園地木道補修	高島市新旭町園地においてNPOネイチャーサポート滋賀が主催するイベントに対して、木道補修に参加した。
5月27日	出前講座	枚方市立招提小学校（大阪府） 5年生75名。
6月2日	湖南地区施設管理連絡会	施設の操作及び維持管理全般について、関係機関との連絡・調整
6月4日	湖西地区施設管理連絡会	施設の操作及び維持管理全般について、関係機関との連絡・調整
6月5日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ・ナガエツルノゲイトリ駆除。近江ウェットランド研究会主催。
6月6日	守山市の大川地区水草除去	美崎自治会他の主催による水草除去活動
6月7日	湖北・湖東地区施設管理連絡会	施設の操作及び維持管理全般について、関係機関との連絡・調整
6月10日	東近江地区施設管理連絡会	施設の操作及び維持管理全般について、関係機関との連絡・調整
6月26日	野洲市水フォーラム	野洲市環境保全推進会議主催による環境保全活動団体の活動報告会。
6月26日	ハマコウ保全	佐波江浜で下刈草を実施。水機構主催。
7月6日	出前講座	能登川北小学校（滋賀県） 3・4年生20名。
7月18日	中島藻刈り清掃	針江生水の郷委員会主催の針江大川の水草除去。
7月22日	出前講座	志津南市民センター講座受講生を対象。
8月24日	あやめ浜まつり	子供たちに船から琵琶湖を見てもらい、浜での自然体験、湖魚を食べる。野洲市あやめ浜で実施。野洲市主催。
9月11日	家棟川ビオトープ観察会	魚等を捕獲して生き物調査を実施。野洲市野田で実施。滋賀県自然環境研究会主催。
10月3日	自然観察会	カヌー川下り等での自然観察会。高島市新旭町で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催。
10月17日	赤野井湾ハス刈	NPO豊穰の郷、滋賀県、守山市、地元自治会による。
11月20日	特定外来生物指定植物種の駆除	ミズヒマリ・ナガエツルノゲイトリ駆除。近江ウェットランド研究会主催。
11月26日	出前講座	守山中学校（滋賀県） 2年生33名
12月18日	ヨシ植栽・松林整備	琵琶湖湖岸の美しい景観を保全するための湖岸堤前浜の整備の一環として、地域の住民と連携し、松林の剪定や湖岸にヨシ植栽を実施した。野洲市、水資源機構の共催、菖蒲区民の皆さん他の参加。
1月14日	出前講座	ケアタウンからさき入居者（滋賀県） 22名
1月23日	琵琶湖・水辺の環境展	環境保全（魚を増やす）の取組や琵琶湖や田んぼに生息する魚について情報発信。イオンモール草津で実施。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催
1月29日	ヨシ刈り	草津市下物で開催。滋賀銀行主催。
3月12日	こなん水環境フォーラム	琵琶湖総管環境保全のパネル展示。野洲市で実施。

出典：文献リスト No. 7-24

表 7.3-2(4) 近年5カ年における主要なイベント一覧

開催日	イベント	概要	
2011 (H23)	4月29日	「第2回休むふるさとの森づくり」育樹の集い	イソモル草津が主催する環境活動（育樹活動）に参加。
	6月25日	ハマゴウ保全イベント	内陸の淡水湖では琵琶湖以外に自生していないハマゴウ（植物）の保全のため、下草刈りを実施。
	7月1日	琵琶湖の日一斉清掃	7月1日の「びわ湖の日」に合わせての環境美化活動へボランティアとして参加。
	8月27日	第6回あやめ浜まつり	琵琶湖周辺住民に琵琶湖の水環境や生態系への関心を高める目的で開催されているイベントへ参加して頂いた。
	8月27日	家棟川ビオトープ観察会	家棟川ビオトープでの動植物観察会へ参加するとともに、近隣の機構施設の見学会を実施。
	8月27日	新旭浜園地木道補修作業	琵琶湖の浜である新旭浜園地にある散策道について、環境整備の一環としての補修作業に参加。
	9月28日	自然観察会（針江川下り）	琵琶湖周辺の施設を利用して、自然観察会を開催し、琵琶湖の環境に関する啓蒙を行った。「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」主催。
	10月29日	琵琶湖・水辺の環境展	パネル展やビオトープの現地見学などを開催し、一般者への環境活動の啓蒙を行った。「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」主催。
	11月5日	琵琶湖管理開始20周年シンポジウム	琵琶湖管理開始後20年経過することを記念し、関係利水者等とシンポジウムを開催。
	11月6日	村野浄水場イベント	利水者（大阪広域水道企業団）の主催するイベントへ参加し、琵琶湖開発事業の説明などを実施。
	11月12日	家棟川ビオトープ観察会	家棟川ビオトープでの動植物観察会へ参加。
	11月13日	あやめ浜ヨシ保全・松林保全	ヨシ群落の再生及び前浜の安定化を図るとともに、松林の保全を目的として周辺自治体等と共催して実施。びわ湖の水と地域の環境を守る会ほか主催。
	12月4日	針江浜ヨシ刈り作業	ヨシ群落の維持再生のための清掃及びヨシ刈り活動へ参加。高島市・針江生水の郷委員会主催。
	12月5日	磯川の河川清掃等	琵琶湖の流入河川である磯川の河川清掃を行い、琵琶湖の環境保全に努めた。
12月17日	伊庭内湖のヨシ刈り	伊庭内湖の環境整備作業としてのヨシ刈り作業にボランティアとして参加。	
1月27日	出前講座	雄琴小学校（滋賀県）の小学生を対象に出前講座を行った。	

出典：文献リスト No. 7-25

表 7.3-2(5) 近年5カ年における主要なイベント一覧

開催日	イベント	概要
4月22日	AQUA SOCIAL FES!! 2012	針江大川にて外来種水草(藻)の除去活動を行った。高島市針江生水の郷委員会主催。
5月28日	関西管内利水者研修会等	4月の異動者を対象に村野浄水場の施設見学を開催。
5月31日	出前講座	枚方市船橋小学校(大阪府) 5年生83名
6月9日	外来種駆除活動	オハナミズキンバエ駆除。滋賀県、民間企業他の主催。
6月13日	出前講座	枚方市立招堤小学校(大阪府) 5年生110名
6月23日	ハマゴウ保全活動	内陸の淡水湖では琵琶湖以外に自生していないハマゴウ(植物)の保全のため、下草刈りを実施。佐波江自治会、京都大学他の主催。
6月23日	新旭浜園地木道補修作業	環境整備の一環として、新旭浜園地にある散策道(木道)の補修作業へ参加。針江排水機場内敷地を作業基地として提供。NPOネイチャーポート滋賀主催。
6月25日	「びわ湖の日」環境美化活動	「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」で定められる環境美化の日に協調して、清掃活動を実施。滋賀県主催。
6月29日	びわ湖環境美化活動	「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」で定められる環境美化の日に協調して、清掃活動を実施。滋賀県主催。
7月12日	ヨシ苗づくり	自治会、NPO等が中主小学校で実施した環境学習会(ヨシ苗づくり)に参加。琵琶湖の水と地域の環境を守る会、野洲市主催。
7月29日	AQUA SOCIAL FES!! 2012	針江大川にて外来種水草(藻)の除去活動を実施。針江生水の郷委員会主催。
8月20日	あやめ浜まつり	周辺住民へ琵琶湖の水環境や生態系への関心を高めてもらう目的で開催されているイベントへ参加。びわ湖の水と地域の環境を守る会、中主漁業協同組合他主催。
8月26日	家棟川ビオトープ観察会	家棟川ビオトープでの動植物観察会へ参加。滋賀県主催。
9月27日	出前講座	雄琴小学校(大津市) 3年生60名
10月10日	出前講座	旭森小学校(彦根市) 5年生135名
10月21日	琵琶湖・水辺の環境展	琵琶湖流域の住民へ環境保全の活動を紹介・啓発を行うイベントへ参加。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催。
11月3日	家棟川ビオトープ観察会	家棟川ビオトープでの動植物観察会へ参加。滋賀県主催。
11月4日	第2回来て見て体験in村野浄水場	利水者(大阪広域水道企業団)の主催するイベントへ参加し、水資源機構の事業説明などを行った。
11月11日	あやめ浜松林保全活動ほか	ヨシ群落の再生及び前浜の安定化を図る目的で、ヨシ植えと松林保全活動を行った。びわ湖の水と地域の環境を守る会他主催。
11月16日	出前講座	真野中学校(大津市) 1年生14名
11月23日	入江干拓を知ろう	入江土地改良区主催の施設見学会に水機構も説明する側で参加。水機構の説明内容は琵琶湖を知って頂くための基礎知識、簡易な水質調査や水機構施設の見学。
11月28日	「びわ湖の日」環境美化活動	「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」で定められる環境美化の日に協調して、清掃活動を行った。滋賀県主催。
12月1日	外来種駆除活動(ミスヒマワリ)	特定外来生物ミズヒマワリを中心とした駆除活動。近江ウエットランド研究会主催。
12月2日	ヨシ刈り作業	ヨシ群落の維持・再生のための、清掃・ヨシ刈り活動へ参加。高島市主催。

2012
(H24)



平成 20 年 5 月 20 日

出前講座（大阪府枚方市立招提小学校）



平成 20 年 8 月 8 日

新浜田んぼ池完成式



平成 20 年 5 月 30 日

ニゴロブナの仔魚放流

平成 20 年 7 月 26 日

親と子の琵琶湖たいけん教室

図 7.3-4(1) イベント風景

出典：文献リスト No. 7-22



平成 21 年 6 月 22 日
出前講座（能登川北小学校）



平成 21 年 10 月 29 日
出前講座（米原中学校）



平成 21 年 12 月 5 日

あやめ浜ヨシ植栽・松林整備



平成 22 年 8 月 24 日

あやめ浜まつり

図 7.3-4(2) イベント風景

出典：文献リスト No. 7-22, 23



平成 22 年 12 月 18 日

あやめ浜ヨシ植栽・松林整備



平成 23 年 1 月 23 日

琵琶湖・水辺の環境展



平成 23 年 8 月 27 日

家棟川ビオトープ観察会

平成 23 年 8 月 27 日

あやめ浜まつり

図 7.3-4(3) イベント風景

出典：文献リスト No. 7-23, 24

	
<p>平成 23 年 10 月 29 日 琵琶湖・水辺の環境展</p>	<p>平成 24 年 1 月 27 日 出前講座</p>
	
<p>平成 24 年 6 月 9 日 外来種駆除活動</p>	<p>平成 24 年 6 月 13 日 出前講座</p>
	
<p>平成 24 年 8 月 26 日 家棟ビオトープ観察会</p>	<p>平成 24 年 11 月 3 日 家棟ビオトープ観察会</p>

図 7.3-4(4) イベント風景

出典：文献リスト No. 7-24



■出前講座を開催しています。

地域みなさんに身近にある水の管理や琵琶湖の環境、環境保全の取り組みについて理解していただくために、県内外の小中学校を対象に出前講座を開催しています。

講座内容は、事前に打ち合わせを行い、講義してほしい内容やこれまで学習したことに関連する内容に沿ったものなど、リクエストに応えながら楽しく学べるようクイズを交えて学習を行います。他にもろ過実験を体験していただくなど、工夫して開催しています。

今後も地域みなさんとふれあえる出前講座を通じて、琵琶湖の現状や水の大切さについて理解していただき、交流を深めることで、琵琶湖の環境保全に貢献していきます。よりわかりやすく、楽しめる内容となるよう改善に努め、みなさまのところへお伺いしたいと思います。



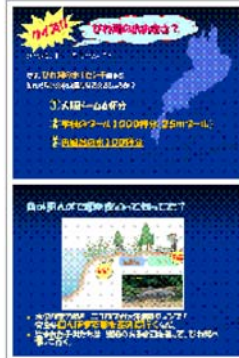
クイズにこたえる子供たち



ろ過実験中

講義画面の見本

講義は主に、パワーポイントを使用します。キャラクター、動きのある画面、アニメーション、動画などを使い、子供たちの興味をひきます。講義リクエストにあわせて構成を決めます。



琵琶湖の水について紹介します。クイズなどで参加性を高めます。

画面を拡大

当管理所における環境への取り組みを説明します。魚の写真などを多用します。

画面を拡大

講座内容

- 琵琶湖の環境や生活の水のゆくえなど
- 琵琶湖の水環境の現状と課題についてなど
- 琵琶湖・淀川の水や環境についてなど
- 滋賀のシンボル琵琶湖について知識を深める、びわこクイズなど

図 7.3-5 ホームページ上で紹介している出前講座の開催

出典：文献リスト No. 7-18

7.4 周辺施設や湖の利用状況

7.4.1 水に関わる施設への来訪状況

(1) 水のめぐみ館「アクア琵琶」(国土交通省、水資源機構)

水のめぐみ館「アクア琵琶」は、国土交通省と水資源機構が瀬田川洗堰近くに、常設の河川管理施設として共同設置したものである。常時は資料館としての機能を主体として、瀬田川洗堰の歴史を始めとして、琵琶湖の水利用の歴史や総合開発、瀬田川の砂防など琵琶湖と淀川水系について、様々な角度から紹介されている。

図 7.4-1 に来館者数の推移を示し、図 7.4-2 に月別の来館者数を示した。1992 年(平成 4 年) 11 月に開館し、1993 年(平成 5 年)から 2010 年(平成 22 年)までは、年間に約 4 万～6 万人の入館者があったが、土・日曜日、祝日を休館日としたことにより 2011 年(平成 23 年)及び 2012 年(平成 24 年)は、1 万 5 千人程度に減少している。季節別では 5 月、8 月を中心として春～夏季に来館者数が多い。

アクア琵琶における展示構成を見ると、敷地内には 1990 年(平成 2 年)に大阪で開催された花と緑の博覧会「EXPO' 90」で使用された「雨たいけん室」もあり、各降雨強度による降雨を体験することができるようになっている。

なお、平成 22 年 3 月より当館に係わる管理運営についての助言、提案、評価をすることを目的とする外部評価委員会を設置し、検討を行っているところである。

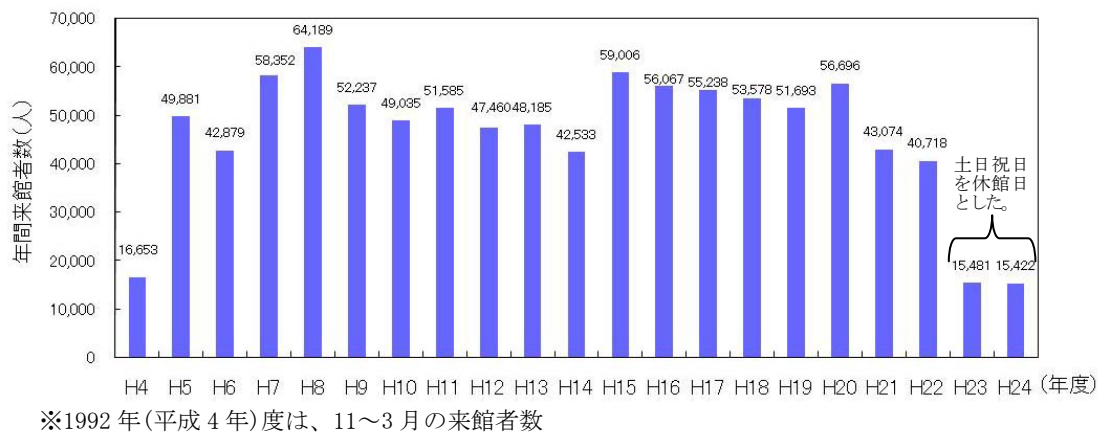


図 7.4-1 アクア琵琶への年間来館者数

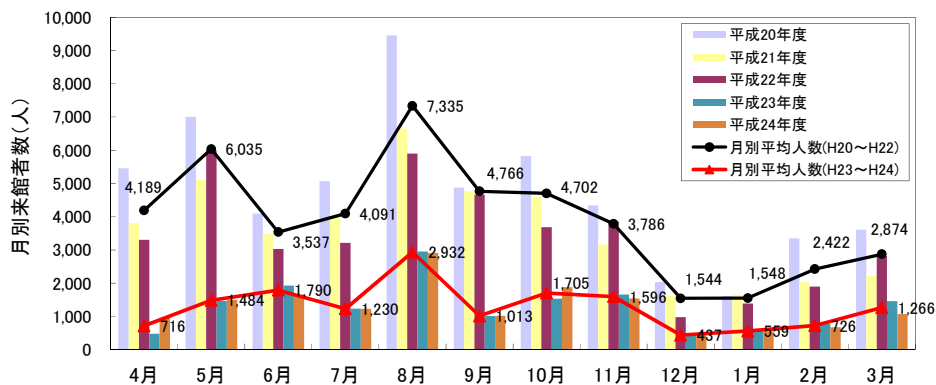


図 7.4-2 アクア琵琶への月別来館者数

出典：水のめぐみ館アクア琵琶提供資料



図 7.4-3 アクア琵琶



図 7.4-4 アクア琵琶施設概要

出典：「水のめぐみ館アクア琵琶 HP」（2013年(平成25年)10月現在），水のめぐみ館アクア琵琶

「アクア琵琶」における、平成20年11月～12月及び平成23年5月～平成24年3月のアンケート結果を図7.4-5に示す。「アクア琵琶」は滋賀県内(66%)をはじめ、京都(7%)・大阪(7%)・兵庫(3%)といった下流府県からも来館者を迎えている。集計期間が大きく異なることや、平成23年度以降、土日・祝日を閉館としたことから単純に比較は行えないものと考えられるが、平成23年度は平成20年度に比較して、滋賀県内(48%→66%)からの来館者が増加していることが伺える。また、図7.4-6に示すように、アクア琵琶で展示しているテーマの理解度は、来場者の75.2%の方が理解しており、テーマ別でも70.0%以上の理解を得ている。

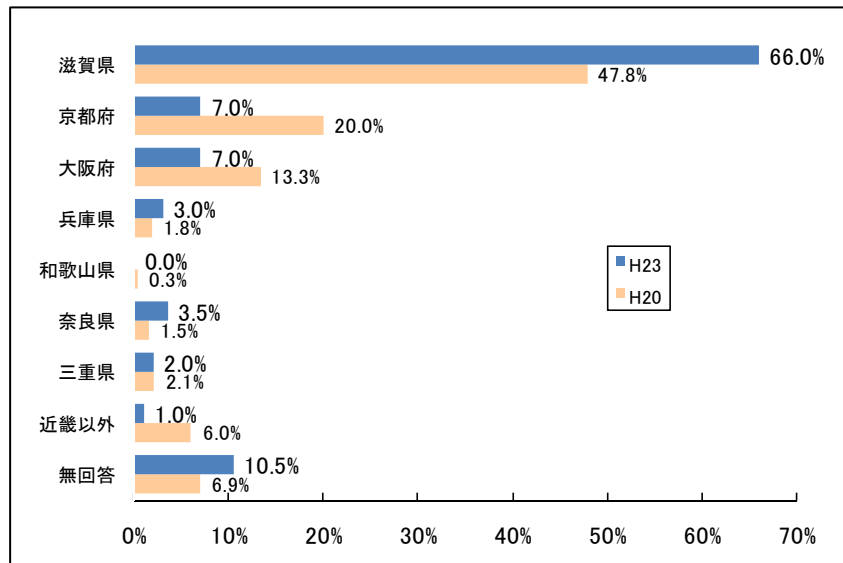


図 7.4-5 アクア琵琶に来館された方の割合(住所)

出典：水のめぐみ館アクア琵琶提供資料

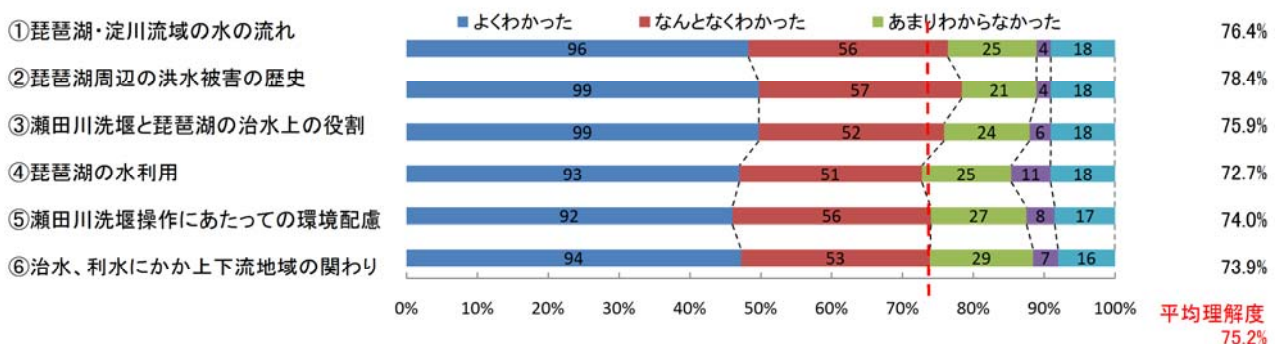


図 7.4-6 アクア琵琶に展示しているテーマ別の理解度に関するアンケート結果 (H23.4～H24.2迄)

出典：水のめぐみ館アクア琵琶提供資料

(2) 烏丸半島

烏丸半島は琵琶湖開発事業時に諸工事のためのストックヤードなどとして利用した。その後、大規模な跡地整備を行い、滋賀県や草津市等による利活用が図られている。

主な利活用施設は、以下のとおりである。

- ・ 琵琶湖博物館（滋賀県）
- ・ 水生植物公園（草津市）
- ・ UNEP 国際環境技術センター（国連）
- ・ 烏丸記念公園（水資源機構）
- ・ 多目的広場（水資源機構）
- ・ その他駐車場等（滋賀県、草津市）



図 7.4-7 烏丸半島全景図

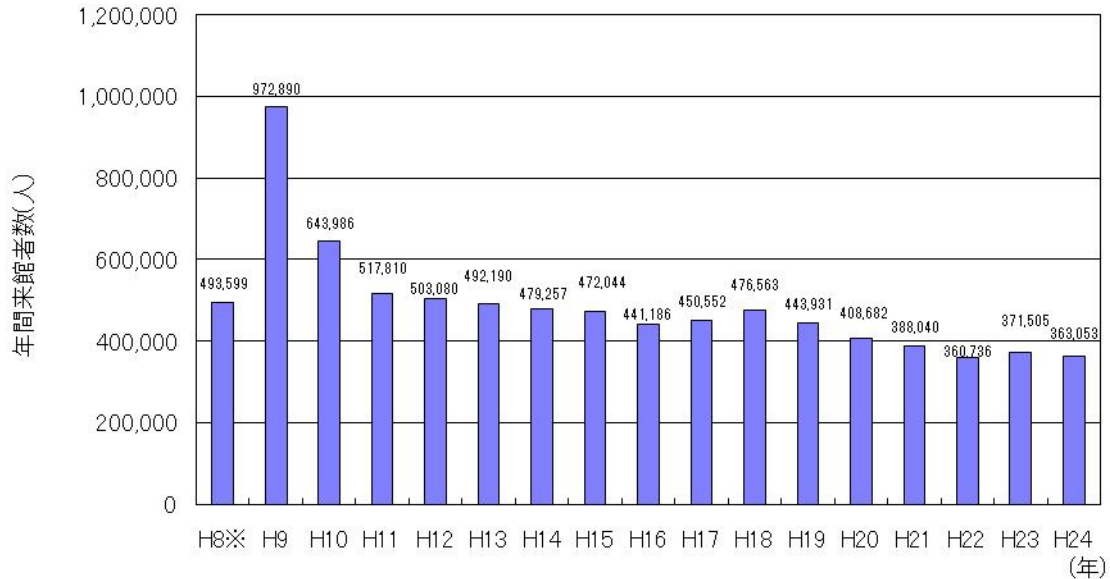
出典：文献リスト No. 7-18

1) 琵琶湖博物館（滋賀県）

琵琶湖博物館は、湖と人との関係を過去にさかのぼって研究・調査し、資料を収集・整理し、その成果をもとに県民とともに考え、今後の望ましいありかたを探るための組織として、10年以上にわたるその準備を終え、1996年（平成8年）4月に設置され、同年10月に一般公開された。

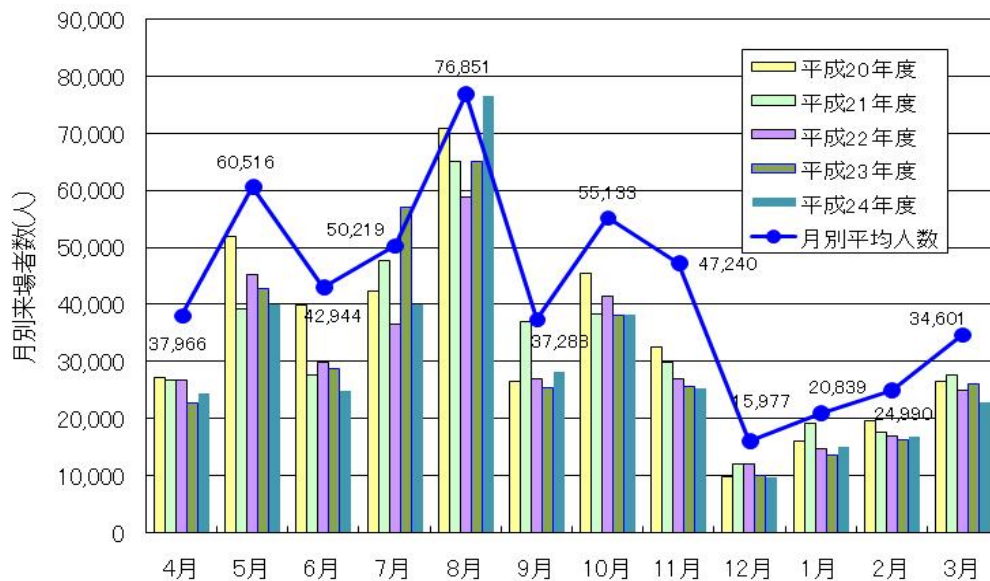
これは研究施設であり、文化施設であり、生涯学習施設であって、交流と情報のセンターとしてもまた機能している。2007年（平成19年）5月8日（火）に開館以来、例年、約40～50万人の来場者があり、2012年（平成24年）8月には来場者数が延べ800万人を超えた。

また、水生植物公園みずの森とも徒歩5分の距離と隣接しており、共通券等を発行している。



※平成8年度は、10～3月の来場者数

図 7.4-8 琵琶湖博物館への年間来館者数



※月別平均人数は、1996年（平成8年）11月から2013年（平成25年）3月までの各月平均値とする。

図 7.4-9 琵琶湖博物館への月別来館者数

出典：滋賀県立琵琶湖博物館提供資料

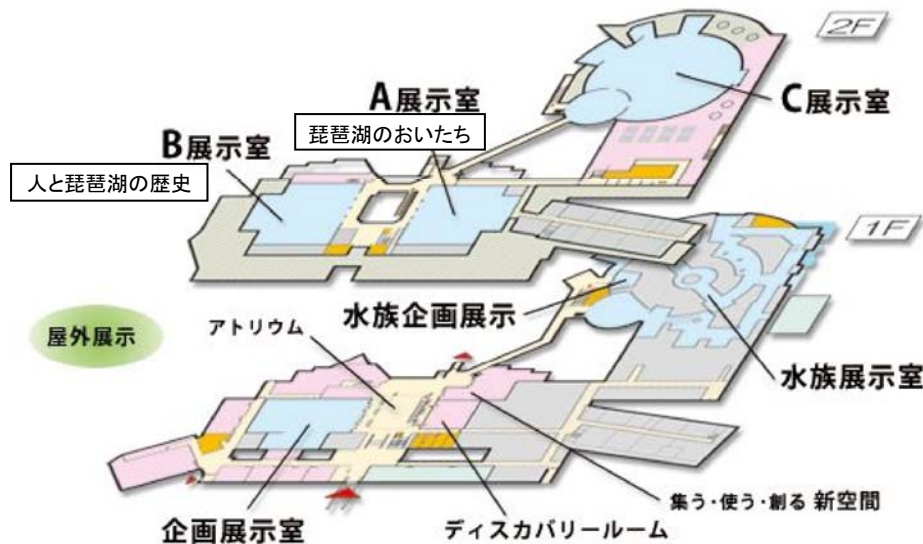


図 7.4-10 琵琶湖博物館の展示案内

□ 施設概要

- ① 敷地面積 (42,434 m²)
- ② 建物概要：本館棟 (地下1階地上2階建 延べ17,512.3 m²)、水族棟(地上2階建 6,474.7m²)
- ③ 屋外付帯施設の構成
 - 1) 展示・観察・体験施設 (太古の森、縄文・弥生の森、生活実験工房 (延べ265.8 m²)、田んぼ・畑、生態観察池・生態観察水路)
 - 2) 保護増殖センター (延べ251.7 m²)
 - 3) 実験施設 (温室 (56.7 m²)、実験水路、実験池)
 - 4) その他付帯施設 (環境水路、野鳥観察舎、駐車場、屋外食事施設 (450 m²))

□ 主な開催イベント

- ・ 皇太子殿下、館内をご視察 2012年7月24日
- ・ 第五回シーボルトコレクション国際会議 2011年10月
- ・ フィールド体験教室 (里山体験教室) 2010年4月～2011年1月
- ・ 企画展示『骨の記憶—あなたにきざまれた五億年の時—』 2009年(平成21年)7月～11月
- ・ シンポジウム 日仏友好百五十年記念国際シンポジウム『ジャン・アンリ＝ファーブル』
2008年(平成20年)7月

出典：「滋賀県立琵琶湖博物館 HP」(2013年(平成25年)10月現在)，滋賀県立琵琶湖博物館

2) 水生植物公園みずの森 (草津市)

1996年(平成8年)7月開業、草津市域の最北、琵琶湖に突き出す烏丸半島周辺には約13ha(2004年(平成16年)10月1日撮影の航空写真より計測：草津市商工観光労政課)にも及ぶわが国有数の蓮の群生地があり、琵琶湖の原風景といわれるヨシ原が今もその姿をとどめている。毎年盛夏の頃にはこの広大な景観が多くのお客の目を楽しませている。半島ではこうした自然環境の保全をモチーフにした「水生植物公園みずの森」、「くさつ夢風車」(風力発電施設)があり、水環境の保全にかかるノウハウと情報を世界に向けて発信する拠点となっている。平成18年度までは、例年15万人前後の来場者数となっていたが、近年減少傾向にあり、平成24年度は約10万人となっている。

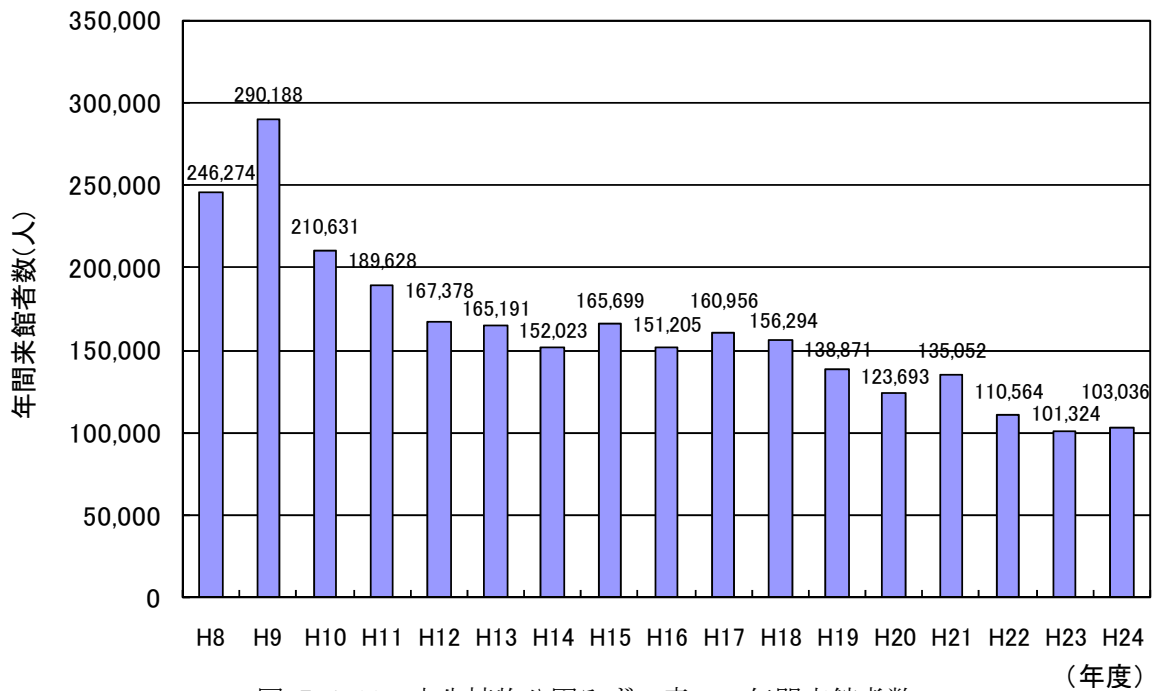


図 7.4-11 水生植物公園みずの森への年間来館者数

出典：草津市立水生植物公園みずの森提供資料



図 7.4-12 施設案内とくさつ夢風車

出典：「草津市立水生植物公園みずの森 HP」, 草津市立水生植物公園みずの森

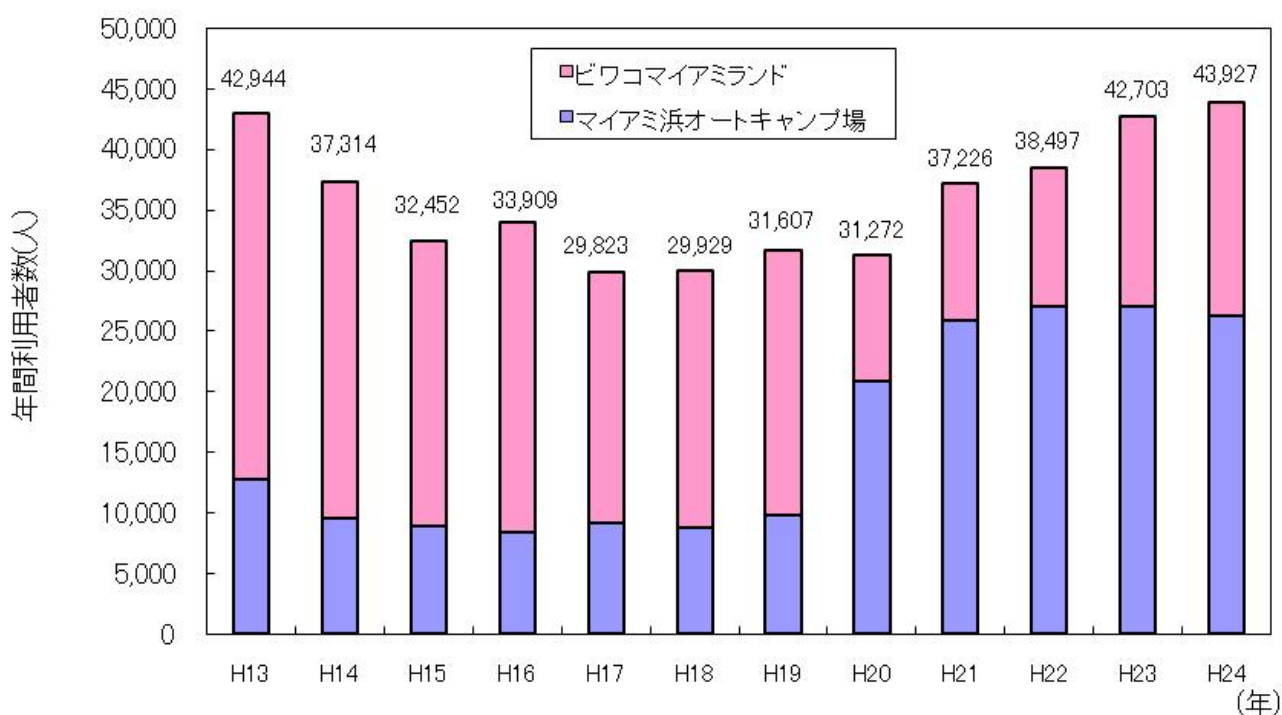
□ 主要施設

- ・観賞温室(1,159.7㎡)：熱帯スイレンを中心に、熱帯の水生植物や仏教に関する植物を展示している。
- ・常設展示室(182.51㎡)：ハスを始め水生植物を科学的、文化的な面から自然、文化、花、科学、情報に分類し、遊びながら知ることができる展示を行っている。
- ・企画展示室(118.73㎡)：植物等の展示を開催するコーナーとして設けている。

(3) ビワコマイアミランド (第三セクター)

1994年(平成6年)4月にオープンしたビワコマイアミランドは、沖島と雄大な比良山系を背景に白砂青松の環境にある。この恵まれた大自然の中で、キャンプやテニス、ローンフィールド、バードウォッチング等を楽しめ、また、四季折々の美しさの中で、野鳥公園、アイリスパーク等の自然を満喫できる施設である。また、平成20年度にはビーチバレー、平成21年度にはマレットゴルフ施設の利用が始まった。

利用者数は、平成13年度から平成17年度にかけて減少したが、その後増加し、平成24年度では約4万4千人の利用者数となっている。



※ 上記利用者数値は、マイアミ浜オートキャンプ場とマイアミランド利用者数の合計値

※ ビワコマイアミランド利用者数には、自由広場・テニスコート・パターゴルフ場、ビーチバレー、マレットゴルフの利用者を含む

図 7.4-13 年間利用者数

出典：野洲市湖岸開発株式会社提供資料

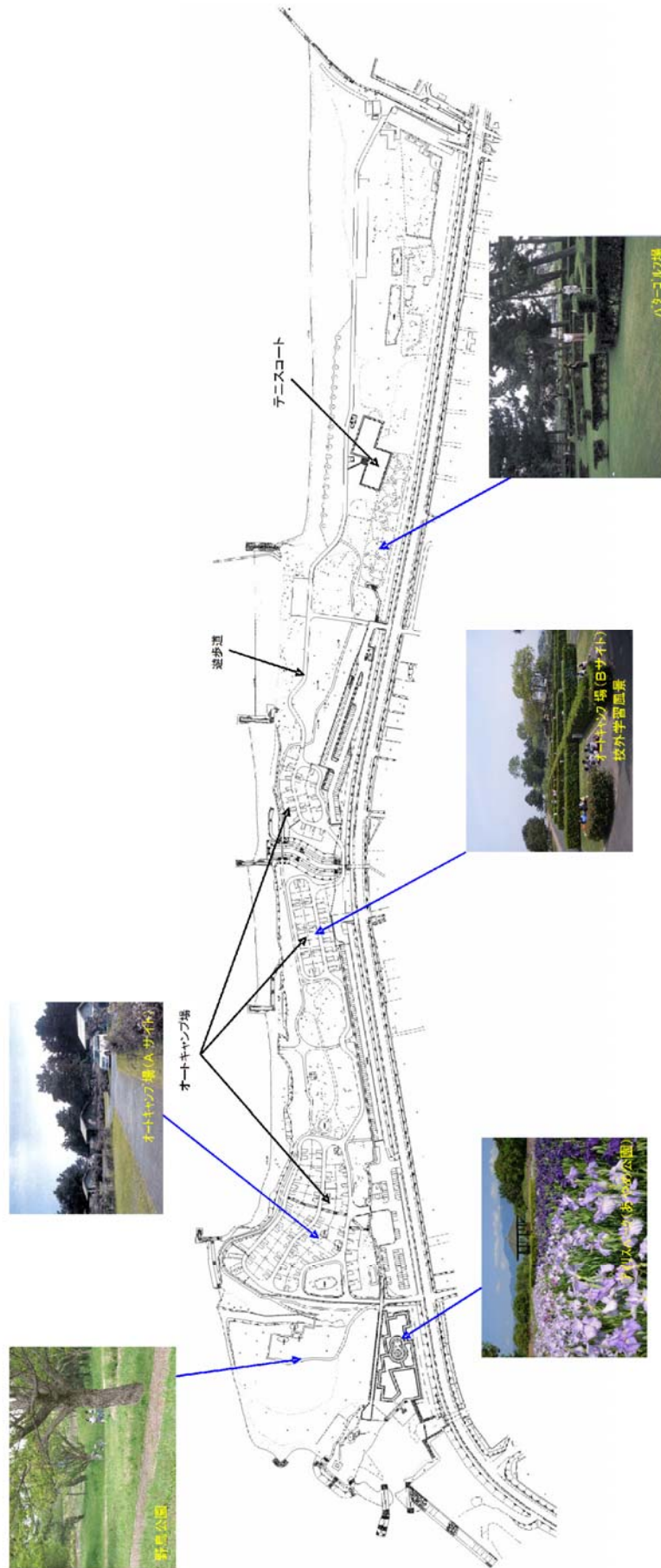


図 7.4-14 ビワコマイアミランドの施設配置図



図 7.4-15 ビワコマイアミランドの施設利用状況

出典：野洲市湖岸開発株式会社提供

(4) 湖岸や前浜の利活用

琵琶湖開発事業により、湖岸堤・管理用道路を整備するとともに、滋賀県では湖岸周辺にあった道路も改装や付け替えなどの整備を行っている。これらにより琵琶湖の湖辺を一周できる道路網が形成され、産業や暮らし、観光に活用されているほか、サイクリング、ジョギング等の余暇活動にも利用されている。

また、湖岸堤の設置にあたっては、堤防本体と汀線（陸と湖との境界）との間に前浜を設け、琵琶湖に生きる多くの生きものたちにとって大切なエリアとして、また、水辺を最大限に活用した親水空間として利活用されている。都市部（京都、大阪、神戸や名古屋）から数時間で行くことができることもあって、一年を通じて多くの方々が訪れ、キャンプやバーベキュー、テニス、パターゴルフ、ウォータースポーツ、魚釣りといったレジャーや散策、バードウォッチングといった多種多様な趣味や余暇活動に利用されている。また、市民や NPO が主体となった美化活動等が実施されている。



図 7.4-16 湖岸堤・管理用道路の利用状況



守山市



高島市



近江八幡市



草津市

図 7.4-17 前浜の活用事例



夏の観察会（平成 24 年 7 月 21 日、29 日）



環境学習会&三町合同グランドゴルフ大会（平成 24 年 10 月 30 日）

図 7.4-18 琵琶湖周辺の活動事例

出典：「近江鉄道株式会社 HP」，近江鉄道株式会社

7.4.2 周辺施設の利用状況

(1) 滋賀県への来訪者

滋賀県が2010年（平成22年）に観光地60地点、2000年（平成12年）及び2005年（平成17年）に観光地62地点を対象に、アンケートを実施した。なお、観光客を対象に調査時期及び回答数を限定し実施したアンケート調査のため、利用人数の変化は把握できない。

調査結果によれば、平成12年から平成17年では、滋賀県（琵琶湖）に訪れた人のうち、京都府・大阪府・兵庫県・愛知県など他府県からの来訪者が増加していたが、平成17年から平成22年では大きな変化はみられない。また、旅行目的では、平成17年は「自然景観類」、「休息・保養」、「歴史・文化」などの比率が高く、平成22年は「自然の風景を見る」、「神社仏閣・旧跡」が高くなっている。

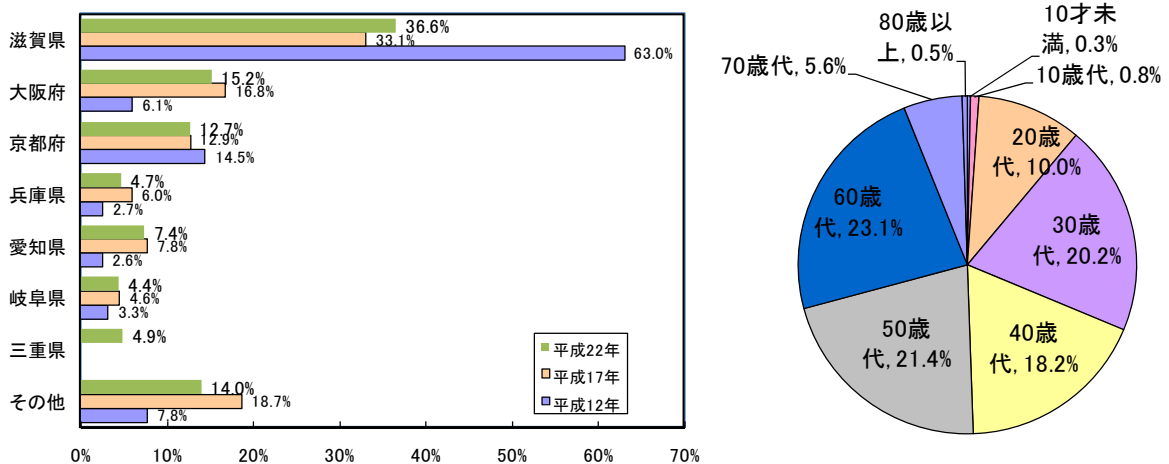


図 7.4-19 滋賀県に来訪された方の割合（左：住所、右：年齢(平成22年のみ)）

出典：「平成22年滋賀県観光動態調査結果 概要版」滋賀県観光動態調査結果(2011年(平成23年)3月)，滋賀県商工観光労働部観光交流局

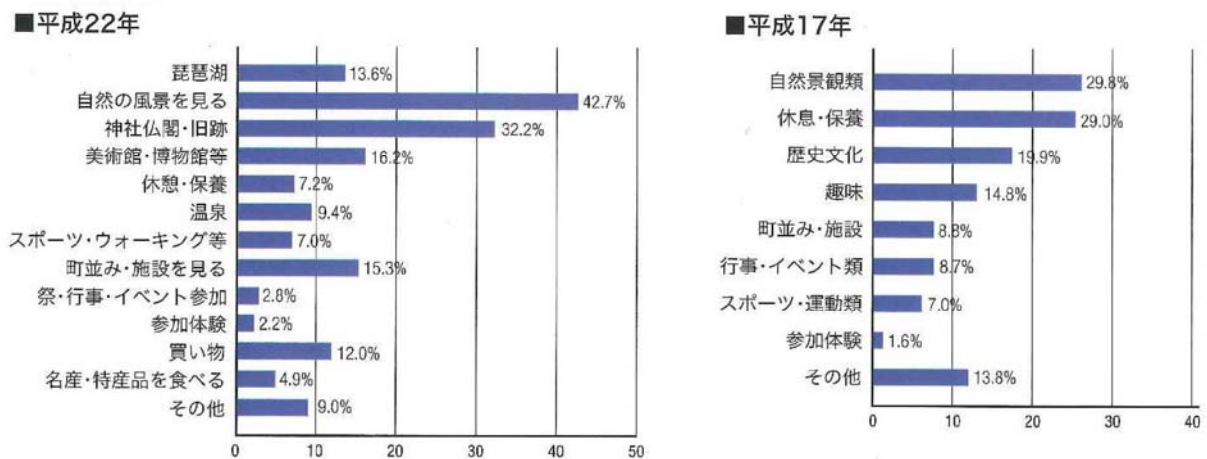


図 7.4-20 滋賀県に来訪された方の旅行目的に関する調査（平成22年度調査）

出典：「平成22年滋賀県観光動態調査結果 概要版」滋賀県観光動態調査結果(2011年(平成23年)3月)，滋賀県商工観光労働部観光交流局

(2) 琵琶湖水浴場の利用

琵琶湖水浴場の利用を図 7.4-22 に示す。
2007 年度（平成 19 年度）から 2009 年度（平成 21 年度）の利用者数は滋賀県全体で 15 万人程度であったが、2010 年度（平成 22 年度）～2012 年度（平成 24 年度）は 22 万人程度で水位している。



図 7.4-21 琵琶湖水浴場位置図

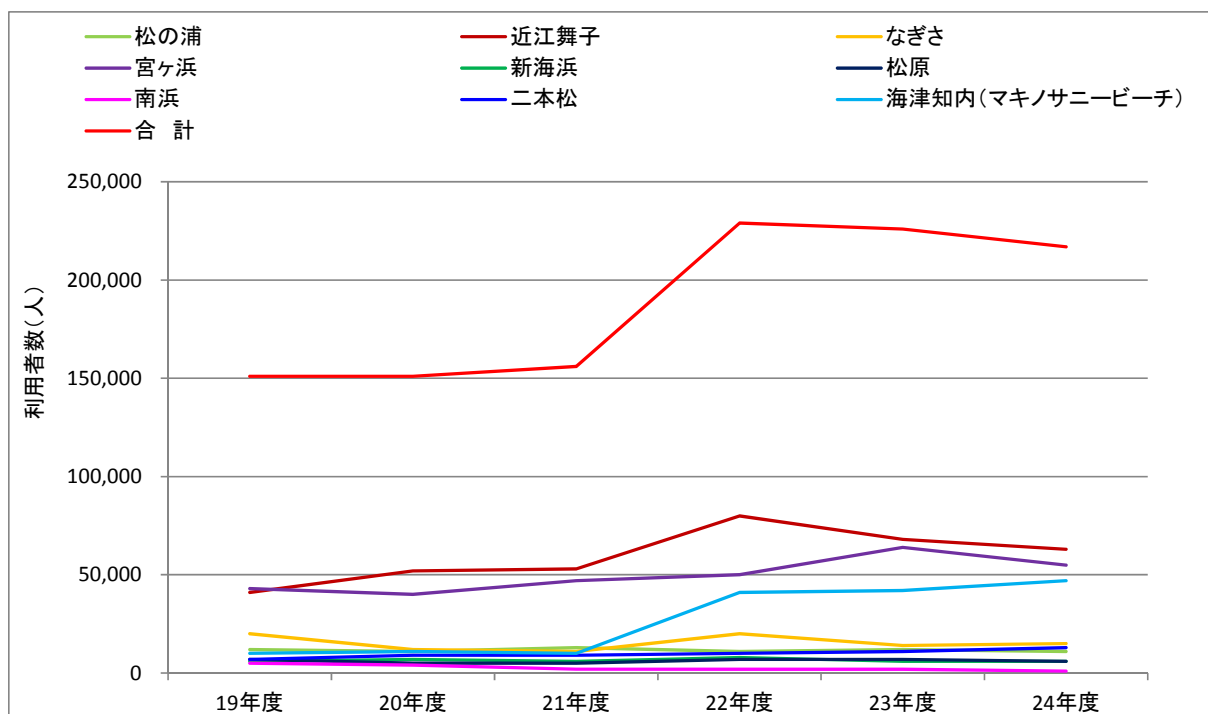


図 7.4-22 琵琶湖水浴場の利用者数

出典：「水浴場水質調査結果」環境省水・大気環境局

表 7.4-1 琵琶湖水浴場の利用者数

水浴場名	所在地	現調査地点数	利用者数(人)					
			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
松の浦	滋賀町荒川字松の浦地先	2	12,000	11,000	13,000	11,000	12,000	11,000
近江舞子	滋賀町南小松地先	2	41,000	52,000	53,000	80,000	68,000	63,000
なぎさ	守山市今浜町字十軒家地先	1	20,000	12,000	11,000	20,000	14,000	15,000
宮ヶ浜	近江八幡市沖島町宮ヶ浜地先	1	43,000	40,000	47,000	50,000	64,000	55,000
新海浜	彦根市新海町地先	1	6,000	7,000	6,000	8,000	6,000	6,000
松原	彦根市松原町地先	2	7,000	5,000	5,000	7,000	7,000	6,000
南浜	びわ町南浜地先	1	5,000	4,000	2,000	2,000	2,000	1,000
二本松	西浅井町大浦大門2191-1地先	1	7,000	9,000	9,000	10,000	11,000	13,000
海津知内(マキノサニービーチ)	高島市マキノ町高木地先および知内地先	1	10,000	11,000	10,000	41,000	42,000	47,000
合計			151,000	151,000	156,000	229,000	226,000	217,000

出典：「水浴場水質調査結果」環境省水・大気環境局

7.4.3 周辺のイベント状況等

水資源機構が所有する施設を利用して、国、県、市町から市民団体及びNPOが、地域活性化や地域交流に貢献している。表7.4-2(1)～(3)に、近年5カ年において地域住民、NPO等が主体となって水資源機構も関連して実施した主なイベントの一覧を示す。

(1) 魚のゆりかご水田プロジェクトに基づくイベント

かつて、琵琶湖周辺の田んぼは、コイ、フナ、ナマズ等在来魚の格好の産卵生育の場であったが、琵琶湖総合開発やほ場整備事業等により水田と排水路の間に大きな落差が設けられた結果、魚が遡上しにくくなっている。そこで、滋賀県では、2001年(平成13年)度から魚類の産卵生育の場としての水田を復活させるため、「魚のゆりかご水田プロジェクト」として取り組んでいる。水資源機構琵琶湖開発総合管理所もこれまでに稚魚の放流や自然観察会の主催を行うなど当該プロジェクトに積極的に参画している。



図 7.4-23 水田への稚魚の放流状況

図 7.4-24 魚のゆりかご水田プロジェクト紹介 HP

出典：「滋賀県 HP」(2012年(平成24年)9月更新)，滋賀県農政水産部農村振興課にぎわう農村推進室 (<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/noson/fish-cradle/yurikagosuidennmai.html>)

(2) 特定外来生物指定植物種（ミズヒマワリ）の駆除

近江ウエットランド研究会の主催のもと、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課、びわ湖自然環境ネットワーク等と協力して、琵琶湖で侵入が確認された特定外来生物指定植物種のミズヒマワリを早期に駆除し、分布拡大を阻止するための駆除ボランティアを募集するなど、定期的に駆除活動を実施している。水資源機構もこれまでにミズヒマワリの分布拡大を阻止する早期駆除活動に参加協力をしている。

2012年12月03日

ミズヒマワリ駆除活動を行いました。

平成24年12月1日（土）、近江ウエットランド研究会（以下、「研究会」という。）が主催する特定外来生物ミズヒマワリを中心に駆除活動が行われました。水資源機構から5名参加し、総勢9名で実施しました。場所は水資源機構が管理する新浜ビオトープ近傍の琵琶湖湖岸域です。

ミズヒマワリは、環境省の特定外来生物に指定され、栽培や野外への放置が禁止されている植物で、いったん定着してしまうと、根絶が極めて困難になる水生植物です。琵琶湖周辺では、2007年秋から研究会等による30回以上の駆除作業を実施してきた結果、ミズヒマワリの生育量は大幅に減少しましたが、未だに根絶には至っていない状態です。

今回は、ミズヒマワリの他に、特定外来生物であるオオハナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウを駆除しました。これらは、生育力が非常に強く、わずかな部位からもクローン化し、増殖します。そのため、葉の断片を含め、根っから全てを除去する必要があり、大変な労力を要しました。また、作業には支障のない天候でしたが、琵琶湖の水温が冷たい中、腰の辺りまで水に浸かっていた駆除作業は、想像以上に大変でした。

駆除したこれらの特定外来生物は、風に飛ばされないように新浜ビオトープ近隣で養生し、天日乾燥させた後、焼却処分することとしています。

今後も、こういった地道な駆除作業を続け、琵琶湖の環境保全に寄与していきたいと思ひます。



ミズヒマワリの駆除作業



オオハナミズキンバイの駆除作業



これだけ駆除しました！ その①
ミズヒマワリ



これだけ駆除しました！ その②
オオハナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ

図 7.4-25 ミズヒマワリ駆除活動報告

出典：文献リスト No. 7-18

表 7.4-2(1) 近年5カ年において地域住民、NPO等が主体となって水資源機構も関連して実施した主なイベント一覧

開催日	イベント	概要
2008 (H20)	5月11日	自然観察会 「太田田んぼ池」(新旭町ビオトープ)等で地域の方々や子供を対象とした自然観察会を開催。 関係機関：高島市、滋賀県高島県事務所、針江農事改良組合、太田農事改良組合、湖西漁業組合、国土交通省琵琶湖河川事務所、水資源機構
	5月25日	自然観察会 5月11日と同じ
	6月8日	自然観察会 5月11日と同じ
	6月20日	自然観察会 下物ビオトープで自然観察会。滋賀県主催。
	8月2日	大同川排水機場施設見学・意見交換会 東近江市、関係土地改良区、関係自治会長
	8月3日	刈草堆肥配布イベント 一般住民および土地改良区に無料配布
	8月5日	米原・磯排水機場施設見学・意見交換会 米原市、関係土地改良区、関係自治会長
	8月8日	新浜田んぼ池完成式 滋賀県、草津市、地元自治会等約100人 自然観察会を実施。
	9月11日	早崎下八木排水機場施設見学・意見交換会 長浜市、関係土地改良区、関係自治会長
	9月18日	稲枝排水機場施設見学・意見交換会 東近江市、関係土地改良区、関係自治会長
	1月16日	磯川清掃 磯排水機場が内水排除を実施すると内水の排出先である磯川に堆積した塵芥や水草が流出し、下流の磯漁港にゴミが流れ込むことがあった。このため、排水機場周辺の磯川の環境美化清掃を関係者で実施した。
3月10日	刈草堆肥の一般配布 一般市民に無料配布	
2009 (H21)	4月10日	びわ湖よしよしプロジェクト 喜撰川河口に間伐材と柴による消波工を設置し、竹筒を利用したヨシの植栽を実施。
	4月16日	魚がのぼれる川づくり 喜撰川中流の中浜地内において、落差工下流面に仮設魚道を設置して、魚が遡上出来るか等魚の調査を実施。
	4月24日	びわ湖よしよしプロジェクト 4月10日と同じ。
	5月15日	自然観察会 うおじまや田んぼへの産卵の風景を復活させ、琵琶湖固有種であるニゴロブナやホンモロコなどを増やす取り組みを実施しており、その一環として、昨年度施工した「新旭町田んぼ池」を活用して、地域の方々や子供を対象とした自然観察会を開催。
	5月21日	魚がのぼれる川づくり 4月16日と同じ。
	5月30日	自然観察会 5月15日と同じ。
	6月7日	自然観察会 「太田田んぼ池」(高島市新旭町ビオトープ)等で地域の方々や子供を対象とした自然観察会を開催。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催。
	6月12日	自然観察会 5月15日と同じ。
	6月18日	魚がのぼれる川づくり 4月16日と同じ。
	6月26日	びわ湖よしよしプロジェクト 4月10日と同じ。
	7月16日	魚がのぼれる川づくり 4月16日と同じ。
	7月26日	刈草堆肥配布イベント 一般住民および土地改良区に無料配布
	8月6日	びわ湖よしよしプロジェクト 4月10日と同じ。
	8月8日	大同川排水機場施設見学・意見交換会 東近江市、関係土地改良区、関係自治会長
	8月12日	米原・磯排水機場施設見学・意見交換会 米原市、関係土地改良区、関係自治会長
	8月21日	びわ湖よしよしプロジェクト 4月10日と同じ。
	8月27日	粗朶消波工設置とヨシ植栽 能登川町栗見新田にて2m×15mの粗朶消波堤を2基設置(8/27)するとともに、ヨシの植栽(380本)を実施(10/1)した。
	9月17日	稲枝排水機場施設見学・意見交換会 東近江市、関係土地改良区、関係自治会長
	10月2日	自然観察会 針江大川をカヌーで下って針江大川や琵琶湖沿岸の自然を観察した。
	10月1日	粗朶消波工設置とヨシ植栽 8月27日と同じ。
	1月15日	粗朶消波工設置 柴(粗朶)100束と間伐材252本を調達(1/15)し、高島市新旭町内にて、粗朶消波堤の柴の積み上げと結束を行った。
	1月28日	粗朶消波工設置 1月15日と同じ。
	3月21日	粗朶消波工設置 1月15日と同じ。
2月7日	水辺の環境と利用を考えるシンポジウム NPO主催のもと、シンポジウムを開催し、琵琶湖ルールの検討等を実施した。	
3月7日	刈草堆肥の一般配布 一般住民に無料配布	
3月18日	魚のゆりかご水田プロジェクト 水田魚道の施工、ウォーキング、観察・説明会を実施した。	
3月19日	魚がのぼれる川づくり 4月16日と同じ。	
3月26日	魚がのぼれる川づくり 4月16日と同じ。	

出典：文献リスト No. 7-22, 23

表 7.4-2(2) 近年5カ年において地域住民、NPO等が主体となって水資源機構も関連して実施した主なイベント一覧

開催日	イベント	概要	
2010 (H22)	4月16日	よしよしプロジェクト	消波堤の補強と、竹半割を使ったヨシの植栽を実施した。
	6月6日	自然観察会	「太田たんぼ池」(高島市新旭町ビオトープ)等で地域の方々や子供を対象とした自然観察会を開催。琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会主催。
	6月10日	魚のゆりかご水田プロジェクト	県や自治体の主催のもと、生き物観察等を行った。
	6月24日	魚のゆりかご水田プロジェクト	6月10日と同じ。
	8月1日	刈草堆肥の一般配布	一般住民に無料配布。
	8月20日	よしよしプロジェクト	4月16日と同じ。
	8月27日	よしよしプロジェクト	4月16日と同じ。
	8月30日	自然観察会	「太田たんぼ池」(高島市新旭町ビオトープ)等で地元ボランティアを対象とした自然観察会を開催。琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会主催。
	9月12日	自然観察会	「太田たんぼ池」(高島市新旭町ビオトープ)等で地元ボランティアを対象とした自然観察会を開催。琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会主催。
	9月18日	よしよしプロジェクト	4月16日と同じ。
	10月1日	よしよしプロジェクト	4月16日と同じ。
	3月18日	よしよしプロジェクト	4月16日と同じ。
	2月10日	魚のゆりかご水田プロジェクト	6月10日と同じ。
	2月11日	魚のゆりかご水田プロジェクト	6月10日と同じ。
3月10日	魚のゆりかご水田プロジェクト	6月10日と同じ。	

開催日	イベント	概要	
2011 (H23)	4月22日	太田たんぼ池清掃	ビオトープの機能回復を目的として、ビオトープ内の清掃(除草等)を実施。
	5月22日	第1回自然観察会	「太田たんぼ池」において琵琶湖周辺住民に参加してもらい、琵琶湖の環境への関心を高めてもらう目的で、生物調査を実施。「琵琶湖とたんぼを結ぶ連絡協議会」主催。
	7月31日	外来種駆除(アサザ保全)	絶滅危惧種であるアサザ(植物)の保全を目的とした外来植物の駆除活動へ参加。伊庭の里湖づくり推進協議会主催。
	9月23日	びわ湖・藻刈りまっか大会	大津市内において湖岸、湖上での藻刈り作業の体験や藻刈り道具・風景の紹介等を行った。
	11月18日	あやめ浜松林整備	野洲市あやめ浜にて琵琶湖湖岸の美しい景観を保全するための湖岸堤前浜の整備の一環として、地域の住民と連携し、松林の間伐、チップづくり、チップ材を敷き均して歩道を設置したほか、湖岸のゴミ拾い等を実施した。
	12月15日	環境学習会(新浜ビオトープ)	新浜ビオトープ(機構施設)における生物調査を行い、ビオトープの機能性についての確認と、環境学習会を開催。
	2月4日	水辺の環境と利用を考えるシンポジウム	NPO主催のもと、シンポジウムを開催し、琵琶湖ルールの検討等を実施した。

出典：文献リスト No. 7-24, 25

表 7.4-2(3) 近年5カ年において地域住民、NPO等が主体となって水資源機構も関連して実施した主なイベント一覧

開催日	イベント	概要	
2012 (H24)	6月10日	外来種駆除活動	絶滅危惧種のアサザ(植物)の保全を目的とした外来植物の駆除。伊庭の里湖づくり推進協議会主催。
	6月17日	自然観察会(第1回)	琵琶湖の魚を増やす取り組みを紹介し環境意識の向上を図る目的で、一般応募者を含め、自然観察会を開催した。琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催(機構参画)。
	6月23日	魚のゆりかご水田プロジェクト	自然観察会を、野洲市菖蒲地区(6/23)、近江八幡市佐波江地区(6/30)のゆりかご水田において実施した。
	6月30日	魚のゆりかご水田プロジェクト	6月23日と同じ。
	7月8日	藻刈り清掃(針江中島)	針江大川(中島)にて外来種の水草除去(藻刈り清掃活動)作業に参加した。機構施設(除塵機)を操作するなど、協力を行った。針江生水の郷委員会主催。
	9月15日	琵琶湖の魚の最新情報交換	ウォーターステーション&Biyocenterにて琵琶湖周辺での取り組みについて情報交換を行った。
	10月13日	お魚里帰り大作戦	新浜ビオトープにおいて、在来魚を琵琶湖へ返す取組を、一般応募者を含めて実施。水機構主催。
	11月23日	ゆりかご水田シンポジウム	琵琶湖博物館にて、ゆりかご水田に関わる取り組み事例の紹介を行った。
	11月23日	よしよしプロジェクト	栗見新田地区にて設置した消波堤の柴刈り、補修及びヨシ植栽を実施した。
	12月9日	よしよしプロジェクト	11月23日と同じ。
	2月23日	よしよしプロジェクト	11月23日と同じ。
	12月8日	ミズヒマワリ駆除イベント	草津市矢橋地区にて、近江ウェットランド研究会の主催のもと、ミズヒマワリの人力駆除を実施した。
2月2日	ミズヒマワリ駆除イベント	12月8日と同じ。	

7.5 まとめ(案)

- ・ 琵琶湖周辺には、様々な観光資源に加えて、豊かな自然環境を用いた教育施設が多数存在しており、地域の方々に利用されている。
- ・ 学校関係・地域住民・市民団体等、地域とのコミュニケーションを様々な形で展開し、地域との連携協力を努めている。

<今後の対応>

- ・ 今後も関係機関や地域との連携を深めていく。
- ・ 琵琶湖は淀川流域の貴重な水源であり、環境保全の重要性などについて上下流交流を促進し、活動を進めていく。

7.6 文献リスト

琵琶湖の周辺地域動態に係わるとりまとめのため、以下の資料を収集整理した。

表 7.6-1(1) 「7.周辺地域動態」に使用した資料リスト

No.	定期 報告書 の頁	文献・資料名	発行者	発行年月	文献の 引用頁
7-1	P7-2 P7-8	滋賀県統計書	滋賀県総合政策部統計課	1965年(昭和40年) ～2011年(平成23年)	HP
7-2	P7-4	琵琶湖周辺地域環境利用ガイド	滋賀県	1985年 (昭和60年)	
7-3	P7-5 ～8	国勢調査報告 [http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/]	総務省統計局	—	HP
7-4	P7-5	滋賀県推計人口年報 [http://www.pref.shiga.lg.jp/data/population/renew/#nenp]	滋賀県統計課	2012年(平成24年) 10月	HP
7-5	P7-7	日本の長期統計系列 [http://www.stat.go.jp/data/chouki/]	総務省統計局	—	HP
7-6	P7-8 ～9	琵琶湖博物館 研究調査報告書6号	滋賀県立琵琶湖博物館	1998年(平成10年) 7月	
7-7	P7-10	しが統計ハンドブック(2013年版)	滋賀県総合政策部統計課	2013年(平成25年) 3月	P39
7-8	P7-10 P7-15 ～16	滋賀県観光情報 [http://www.biwako-visitors.jp/]	公益社団法人びわこビジ ターズビューロー	2013年(平成25年) 10月	HP
7-9	P7-11	滋賀県地図 [http://www.pref.shiga.jp/]	滋賀県	2011年(平成23年) 5月	HP
7-10	P7-11	平成22年滋賀県観光入込客統計調査書	滋賀県商工観光労働部観 光交流局	2013年(平成25年) 2月	P9 ～11
7-11	P7-11	平成23年(2011年)京都府観光入込客調査報告 書	京都府商工労働観光部	2012年(平成24年) 8月	HP
7-12	P7-11	大阪府観光統計調査報告書 平成22年版	大阪府府民文化都市魅力 創造局国際交流・観光課	2012年(平成24年) 1月	P8
7-13	P7-11	平成23年奈良県観光客動態調査報告書	奈良県観光局ならの魅力 創造課	—	P1
7-14	P7-11	平成24年刊三重県統計書 [http://www.pref.mie.lg.jp/DATABOX/tokeisho/tokei12/bunya18.htm]	三重県戦略企画部統計課 分析・情報班	2012年(平成24年)	HP
7-15	P7-12 ～14	滋賀県観光関連資料 [http://www.pref.shiga.lg.jp/profile/hakkei/]	滋賀県広報課 HP	2012年(平成24年) 3月	HP
7-16	P7-16	高島市観光情報 [http://www.takashima-kanko.jp/spot/takashima/419.htm]	高島市 HP	2013年(平成25年) 10月現在	HP
7-17	P7-16	草津まるごとガイド [http://www.kanko-kusatsu.com/spot/387]	草津市観光物産協会 HP	2013年(平成25年) 10月現在	HP
7-18	P7-15 P7-17 ～18 P7-32	琵琶湖周辺の観光名所等 [http://www.water.go.jp/kansai/biwako/]	(独)水資源機構 琵琶湖開発総合管理所 HP	2013年(平成25年) 10月	HP

表 7.6-1(2) 「7.周辺地域動態」に使用した資料リスト

No.	定期 報告書 の頁	文献・資料名	発行者	発行年月	文献の 引用頁
7-19	P7-19	琵琶湖水環境図説	建設省近畿地方建設局 琵琶湖工事事務所（現 国土交通省近畿地方整 備局琵琶湖河川事務所）		
7-20	P7-20	琵琶湖総合保全整備計画 マザーレイク 21 計画 （第 2 期改訂版）	滋賀県琵琶湖環境部琵琶 湖政策課	2011 年（平成 23 年） 10 月	P1
7-21	P7-22	淀川水系流域委員会 HP 〔 http://www.yodoriver.org/ 〕	国土交通省近畿地方整 備局河川部河川計画課	2013 年（平成 25 年） 10 月現在	HP
7-22	P7-23 P7-28	平成 20 年度管理フォローアップ年次報告書	（独）水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	2010 年（平成 22 年） 3 月	P7-3 P7-1 ～2
7-23	P7-24 P7-29	平成 21 年度管理フォローアップ年次報告書	（独）水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	2011 年（平成 23 年） 3 月	P7-3 P7-1 ～2
7-24	P7-25 P7-29 ～30	平成 22 年度管理フォローアップ年次報告書	（独）水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	2012 年（平成 24 年） 3 月	P7-3 P7-1 ～2
7-25	P7-26 P7-30 ～31	平成 23 年度管理フォローアップ年次報告書	（独）水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	2013 年（平成 25 年） 3 月	P7-2 P7-1
7-26	P7-34	水のめぐみ館アクア琵琶 HP 〔 http://www.aquabiwa.jp/ 〕	水のめぐみ館 アクア琵琶	2013 年（平成 25 年） 10 月現在	HP
7-27	P7-38	滋賀県立琵琶湖博物館 HP 〔 http://www.lbm.go.jp/ 〕	滋賀県立琵琶湖博物館	2013 年（平成 25 年） 10 月現在	HP
7-28	P7-39	草津市立水生植物公園みずの森 HP 〔 http://www.seibu-la.co.jp/ mizunomori/guide/ 〕	草津市立水生植物公園 みずの森	—	HP
7-29	P7-43	近江鉄道株式会社 HP 〔 http://www.ohmitetudo.co.jp/kogan /info/report/2012/index.html 〕	近江鉄道株式会社	—	HP
7-30	P7-44	平成 22 年滋賀県観光動態調査結果 概要版	滋賀県商工観光労働部 観光交流局	2011 年（平成 23 年） 3 月	P1～2
7-31	P7-45	滋賀県 HP 〔 http://www.pref.shiga.lg.jp/g/noson/ fish-cradle/yurikagosuidennmai.html 〕	滋賀県農政水産部農村 振興課にぎわう農村推 進室	2012 年（平成 24 年） 9 月更新	HP
7-32	P7-46	水浴場水質調査結果 〔 http://www.env.go.jp/water/suiyoku_cho/ 〕	環境省水・大気環境局	—	HP

7. 周辺地域動態	7-1
7.1 進め方	7-1
7.1.1 整理方針	7-1
7.1.2 整理手順	7-1
(1) 周辺地域の概況.....	7-1
(2) 事業と地域社会情勢の変遷.....	7-1
(3) 地域連携のための取り組み.....	7-1
(4) 周辺施設や湖の利用状況	7-1
(5) まとめ.....	7-1
7.1.3 必要資料(参考資料)の収集・整理	7-1
7.2 周辺地域の概況	7-2
7.2.1 周辺地域の概要.....	7-2
7.2.2 立地特性	7-10
7.3 事業と地域社会情勢の変遷	7-19
7.3.1 琵琶湖と地域社会の変遷	7-19
7.3.2 近年の動向.....	7-20
7.3.3 地域連携のための水資源機構の取り組み	7-24
7.4 周辺施設や湖の利用状況.....	7-35
7.4.1 水に関わる施設の状況.....	7-35
(1) 水のめぐみ館「アクア琵琶」(国土交通省、水資源機構)	7-35
(2) 烏丸半島	7-38
(3) ビワコマイアミランド(第三セクター)	7-42
(4) 湖岸や前浜の利活用	7-44
7.4.2 周辺施設の利用状況	7-46
(1) 滋賀県への来訪者	7-46
(2) 琵琶湖水浴場の利用	7-47
7.4.3 周辺のイベント状況等.....	7-48
(1) 魚のゆりかご水田プロジェクトに基づくイベント.....	7-48
(2) 特定外来生物指定植物種(ミズヒマワリ)の駆除.....	7-49
7.5 まとめ(案)	7-53
7.6 文献リスト	7-54